

景況などに関する会員アンケート

調査結果

平成 29 年 4 月

北陸経済連合会

目 次

1. アンケート調査実施概要	1
2. アンケート調査結果概要	2
総括	2
I. 景気動向	3
II. 業績	5
III. 設備投資	7
IV. その他	9
参考（アンケート調査結果）	11
I. 景気動向	11
II. 業績	14
III. 設備投資	17
IV. その他（2016年度採用活動について）	21
（外国人留学生のインターンシップについて）	29

1. アンケート調査実施概要

○実施概要

北陸の景気動向や業況その他について、会員の意見、要望を迅速かつ的確に把握し、各方面への要望活動に活かすため、北陸地域の景況などに関するアンケート調査を実施した。[今回で37回目]

以下、その結果を報告する。

○調査時期

平成29年3月14日～3月28日

○調査対象

北陸経済連合会会員企業

○回収率

回答率54.5%（送付企業303社、回収数165社）

○調査企業概要

本社の所在地	回収数	割合
富山県	65	39.4%
石川県	52	31.5%
福井県	19	11.5%
北陸三県以外	29	17.6%
計	165	100.0%

資本金	回収数	割合
1億円未満	57	34.5%
1億円～10億円未満	45	27.3%
10億円以上	63	38.2%
計	165	100.0%

調査結果の取りまとめにおいては、規模別を以下の基準で分類することとする。

【規模別】

- 大企業：資本金10億円以上
- 中堅企業：資本金1億円以上10億円未満
- 中小企業：資本金1億円未満

	業種	回収数	割合
製 造 業	食料品製造業	2	1.2%
	繊維工業	4	2.4%
	木材・紙・パルプ製造業	1	0.6%
	出版・印刷・同関連業	5	3.0%
	化学工業	3	1.8%
	鉄鋼業・非鉄金属製造業	6	3.6%
	金属製品製造業	8	4.8%
	機械工業	9	5.5%
	その他製造業	22	13.3%
	小計	60	36.4%
非 製 造 業	卸売業	12	7.3%
	小売業	5	3.0%
	建設業	25	15.2%
	電気・ガス・水道業	3	1.8%
	運輸業	10	6.1%
	農・林・漁業	0	0.0%
	鉱業	0	0.0%
	金融業・保険業	15	9.1%
	不動産	2	1.2%
	サービス業	19	11.5%
	その他の非製造業	14	8.5%
小計	105	63.6%	
計	165	100.0%	

2. アンケート調査結果概要

[総 括]

北陸の景気動向 ……足もとでは回復基調にあることがうかがえ、 来期についても、改善を見込む企業が増加

- ・現在の北陸地域の景気については、「すでに回復」「回復基調」とみる企業が前回調査に比べ増加（前回45.2%→今回66.7%）している。
- ・28年度下期の景気について、景気判断BSI（「良くなった」と答えた割合から「悪くなった」を引いた値）でみると、12.7（前回▲4.0）と改善している。
また、来期（29年度上期）の見通しについては19.9（今期12.7）と、改善を見込む企業が増加している。
- ・現在の景気が「底這い」「下降」とした企業のうち、3割程度（28.9%）の企業が29年度中に回復に転じるとみている。

業績 ……足もとでは改善傾向にあり、 来期についても、改善を見込む企業が増加

- ・現在の業績水準については、「大変良い」「良い」とみている企業が前回調査に比べ増加（前回33.9%→今回37.0%）している。
- ・28年度下期の業績について、業績判断BSI（「改善」と答えた割合から「悪化」を引いた値）でみると、今期は8.4と、前回調査（▲9.5）から改善している。
また、規模別では、大企業が8.0（前回▲1.5）、中堅企業が13.3（前回▲27.4）、中小企業が5.2（前回▲5.9）となり、特に中堅企業において、業績が改善したとする企業が増加している。
- ・業績判断BSIの来期（29年度上期）の見通しについては17.0（今期8.4）と、改善を見込む企業が増加している。
- ・経営上の課題としては、「人材養成・確保」（73.9%）が最も多く、次いで「国内販売力の強化」（56.4%）となっている。

設備投資 ……現状の設備水準は適正とする企業が多数で、29年度の 設備投資見通しは引き続き増加傾向

- ・現在の設備水準については、「適正である」と答えた企業が79.4%で、前回調査（72.5%）を上回り、「過剰」「不足」「非常に不足」がそれぞれ減少となっている。
- ・設備投資の前年対比については、28年度は「増加した」と答えた企業（36.4%）が「減少した」と答えた企業（14.5%）を上回った。29年度の見込みについても、「増加する」と答えた企業（31.5%）が「減少する」と答えた企業（12.7%）を上回った。

その他

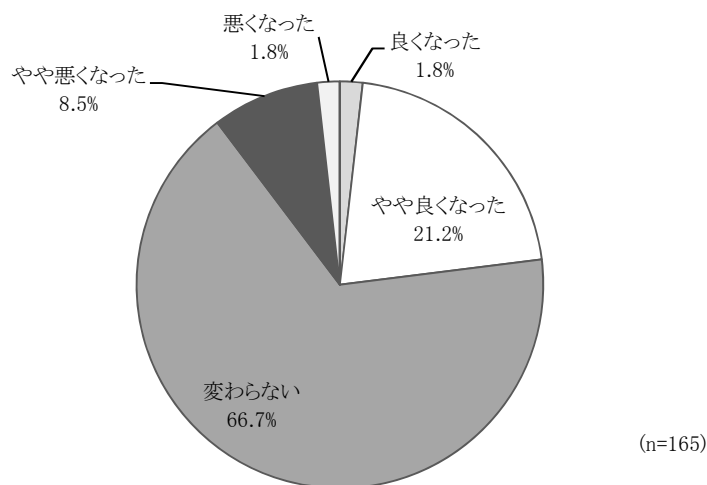
- ・2016年度採用活動（2017年4月新卒者等）では80.0%が採用しており、採用者の構成としては製造業では大学院卒、学部卒が同程度、非製造業では学部卒が多く採用されている。
- 採用の充足率については、全産業では64.0%の企業が90%以上と答えており、規模別に見ると大企業（75.0%）に比べ、中堅・中小企業では57.0%と低下する。
- 採用予定における北陸地域出身者比率については、90%以上と答えた企業が全産業では48%、規模別に見ると中堅企業（65.0%）、中小企業（64.0%）に比べ、大企業では30.0%と低下する。
- 留学生の採用状況については、全産業では29.0%の企業がすでに採用もしくは可能性がある」と答えており、規模別に見ると大企業（42.9%）に比べ、中堅企業（20.0%）、中小企業（21.1%）と低下する。
- 外国人留学生のインターンシップ受入状況については、全産業では15.2%の企業がすでに受け入れているもしくは今後受け入れを検討していると答えており、規模別に見ると大企業（25.2%）に比べ、中堅企業（11.1%）、中小企業（10.6%）と低下する。

I. 景気動向

足もとでは回復基調にあることがうかがえ、 来期についても、改善を見込む企業が増加

- ・ 28年度下期の景気動向については、前期（28年度上期）と比べて「良くなった」「やや良くなった」と答えた企業が23.0%で、「やや悪くなった」「悪くなった」の10.3%を上回っている。また、景気は変わらないとみている企業が6割以上を占めている。（図表1）
- ・ 28年度下期の景気について、景気判断BSI（図表2、※）では12.7となり、前回調査の現状（28年度上期）判断の▲4.0から増加している。業種別にみると、製造業が15.0（前回▲7.0）、非製造業が11.4（前回▲2.5）と、どちらも改善した。
- ・ 来期（29年度上期）の見通しについては19.9（今期12.7）と、改善を見込む企業が増加している。（図表2）
- ・ 28年度下期の北陸地域の景気については、「すでに回復」「回復基調」とみる企業が66.7%で、前回調査（45.2%）および、「底這い」「下降」と見る企業（27.3%）を上回っている。（図表3）
- ・ 現在の景気が「すでに回復」「回復基調」とした企業について、回復した理由を尋ねたところ、「企業収益の回復」が45.5%と最も多く、「設備投資の回復」が38.2%、「個人消費の回復」が26.4%で続いている。（図表4）
- ・ 一方、現在の景気が「底這い」「下降」とした企業に対し、今後回復に転じると予想される時期について尋ねたところ、29年度上期が8.9%、下期が20.0%、30年度上期が26.7%、下期以降とみる企業が24.4%となっている。（図表5）

図表1. 平成28年度下期の景気（前期比）



図表2. 平成28年下期の景気判断と見通し

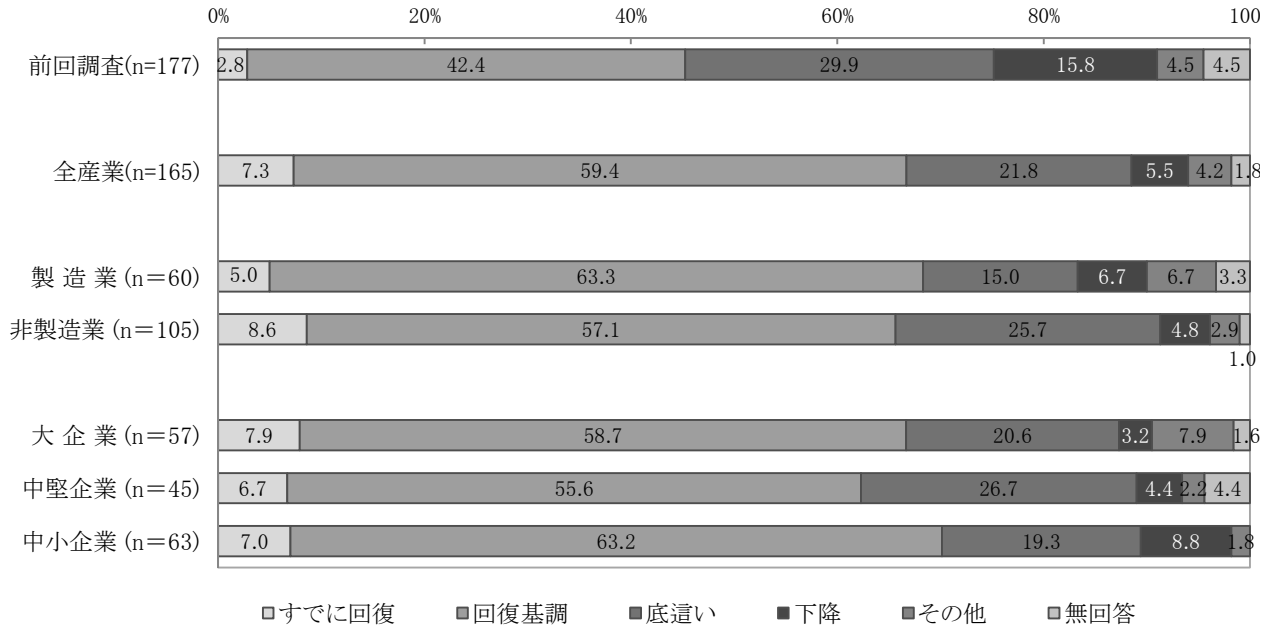
※景気判断BSI

（「良くなった」「やや良くなった」） - （「悪くなった」「やや悪くなった」）社数構成比 単位：%ポイント

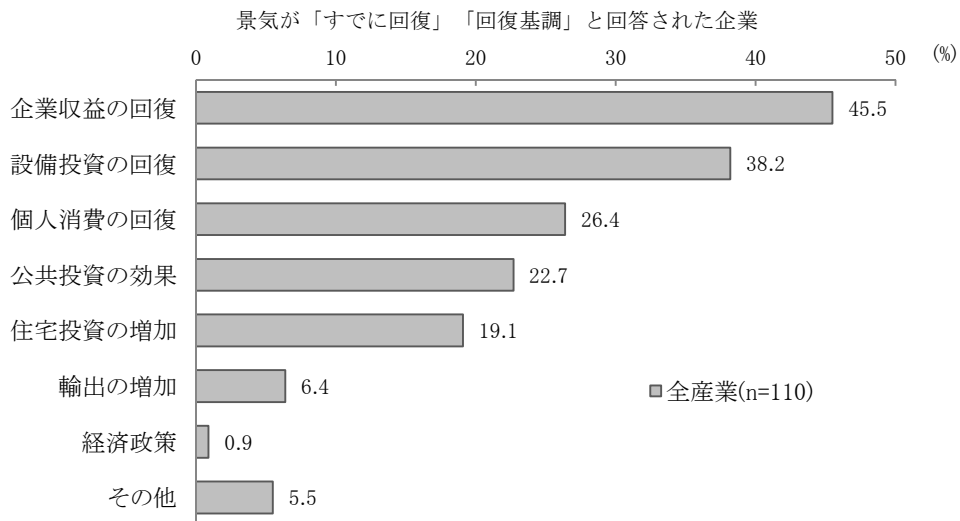
		前回調査		今回調査		
		28年4～9月(前期)		28年10～3月(今期)		29年4～9月(見通し)
		景気判断BSI	変化幅	景気判断BSI	変化幅	景気判断BSI
全産業		▲ 4.0	12.7	16.7	19.9	7.2
業種	製造業	▲ 7.0	15.0	22.0	26.7	11.7
	非製造業	▲ 2.5	11.4	13.9	16.2	4.8
規模	大企業	9.1	17.5	8.4	25.4	7.9
	中堅企業	▲ 25.0	8.9	33.9	17.8	8.9
	中小企業	▲ 3.0	10.5	13.5	15.8	5.3

注) 28年10～3月(今期)の変化幅は28年4～9月(前期)との対比、29年4～9月(見通し)の変化幅は28年10～3月(今期)との対比。

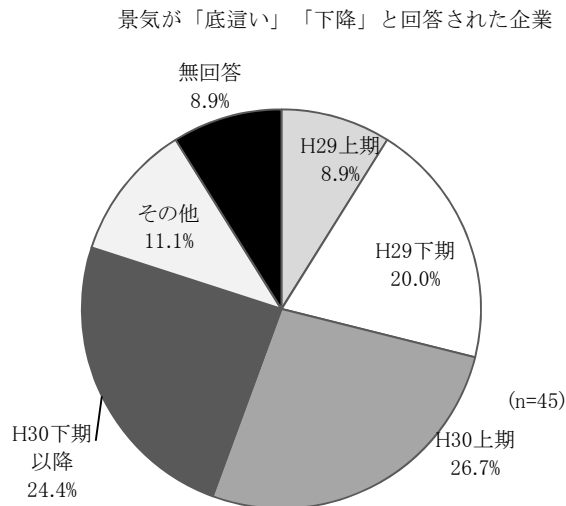
図表3. 平成28年度下期の景気基調



図表4. 平成28年度下期の景気が良い理由（複数回答）



図表5. 北陸地域の景気が回復に転じる時期



Ⅱ. 業績

足もとでは改善傾向にあり、 来期についても、改善を見込む企業が増加

- ・ 28年度下期の業績について、業績判断BSI（図表6 ※）の現状判断は、8.4となり、前回調査（28年度上期）の▲9.5から増加している。
- ・ 業種別で見ると、製造業が16.7（前回▲17.5）、非製造業が3.8（前回▲5.9）と、どちらも増加している。
規模別では、大企業が8.0（前回▲1.5）、中堅企業が13.3（前回▲27.4）、中小企業が5.2（前回▲5.9）となり、特に、中堅企業において、業績が改善したとする企業が増加している。（図表6）
- ・ 来期（29年度上期）の見通しについては17.0と、改善を見込む企業が増加している。業種別で見ると、製造業、非製造業ともに今期からの改善を見込んでいる。また、規模別で見ると、大企業は15.9（今期8.0）、中小企業は22.8（今期5.2）と改善を見込む一方、中堅企業は11.1（今期13.3）とやや悪化を見込んでいる。（図表6）
- ・ 現在の業績水準については、「大変良い」「良い」とみている企業が37.0%（前回33.9%）、「悪い」「大変悪い」とみている企業が19.4%（前回16.9%）となっている。（図表7）
- ・ 経営上の課題では、「人材養成・確保」（73.9%）が最も多く、次いで「国内販売力の強化」（56.4%）となり、「新分野への進出」（37.0%）、「新商品の開発」（32.7%）がこれに続いている。（図表8）

図表6. 平成28年度下期の業績判断と見通し

※業績判断BSI

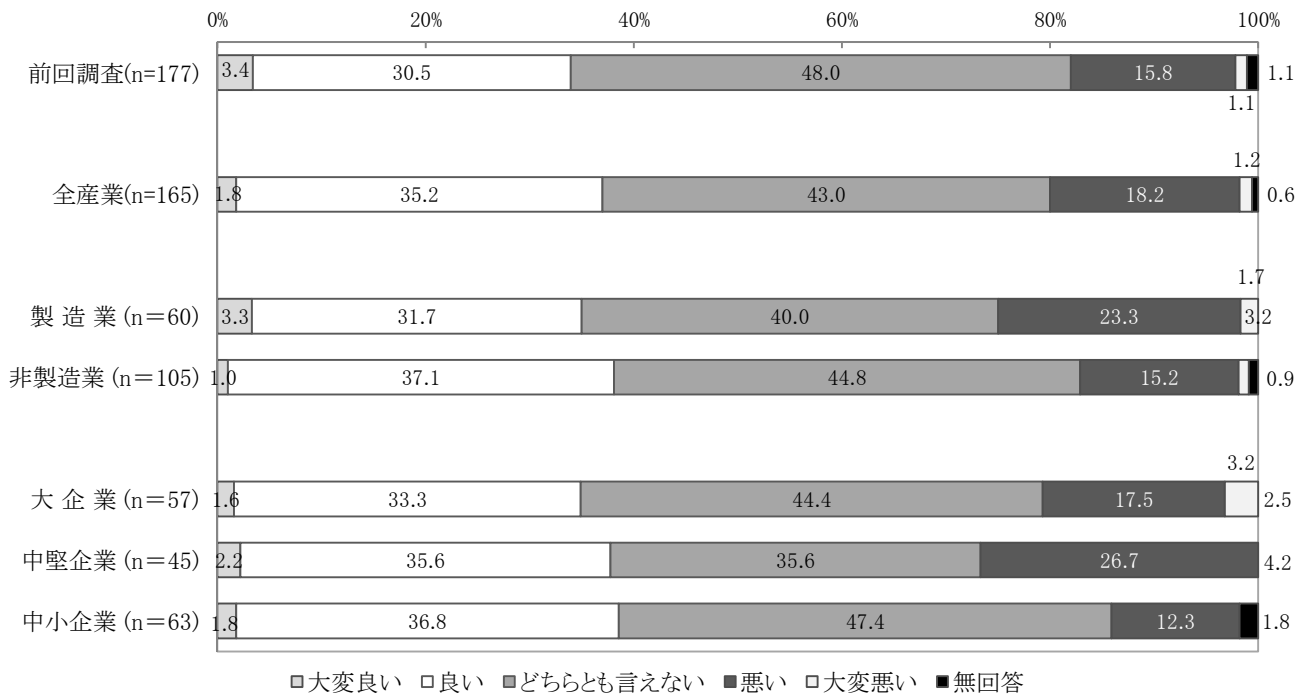
（「改善」「やや改善」） - （「悪化」「やや悪化」）社数構成比

単位：%ポイント

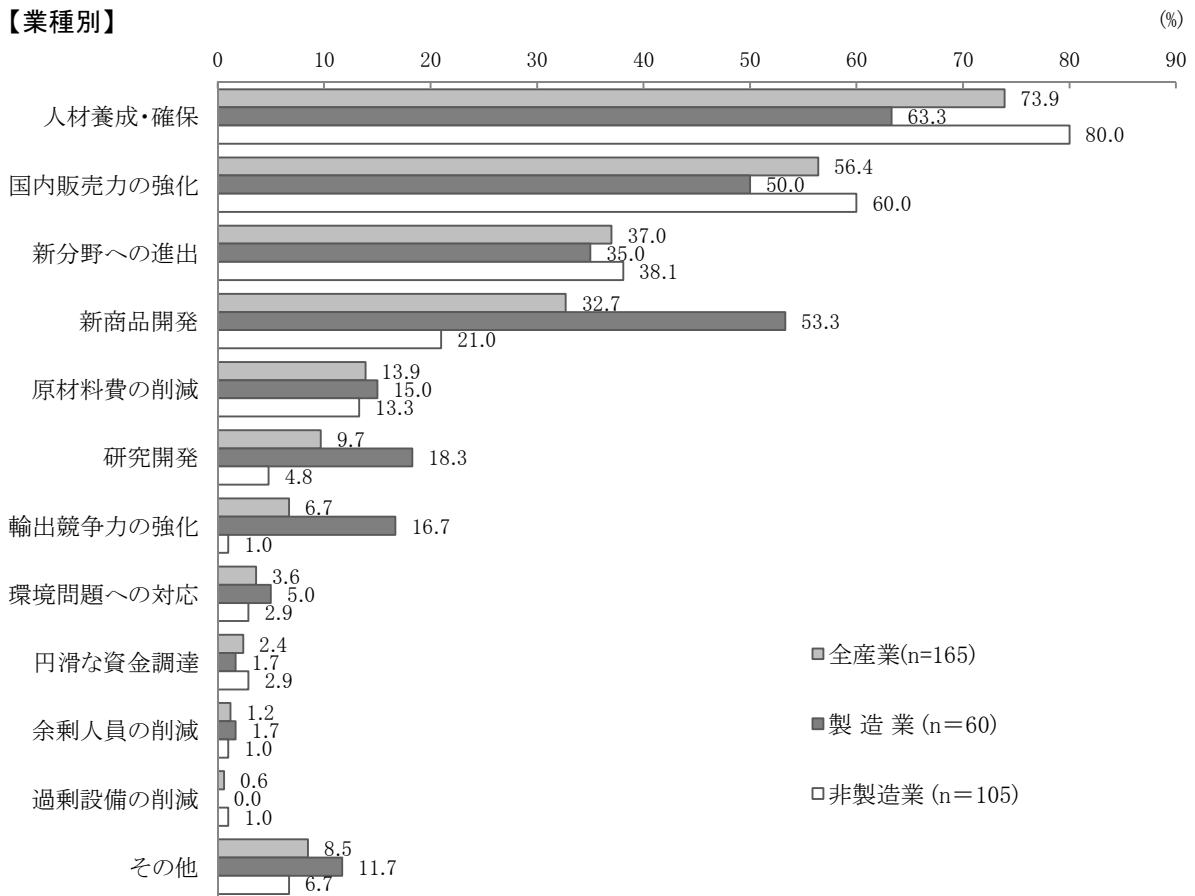
		前回調査		今回調査			
		28年4～9月(前期)		28年10～3月(今期)		29年4～9月(見通し)	
		業績判断BSI		業績判断BSI	変化幅	業績判断BSI	変化幅
全産業		▲ 9.5		8.4	17.9	17.0	8.6
業種	製造業	▲ 17.5		16.7	34.2	40.0	23.3
	非製造業	▲ 5.9		3.8	9.7	3.9	0.1
規模	大企業	▲ 1.5		8.0	9.5	15.9	7.9
	中堅企業	▲ 27.4		13.3	40.7	11.1	▲ 2.2
	中小企業	▲ 5.9		5.2	11.1	22.8	17.6

注) 28年10～3月(今期)の変化幅は28年4～9月(前期)との対比、29年4～9月(見通し)の変化幅は28年10～3月(今期)との対比。

図表7. 現在の業績水準



図表8. 経営上の課題 (3つまで回答)

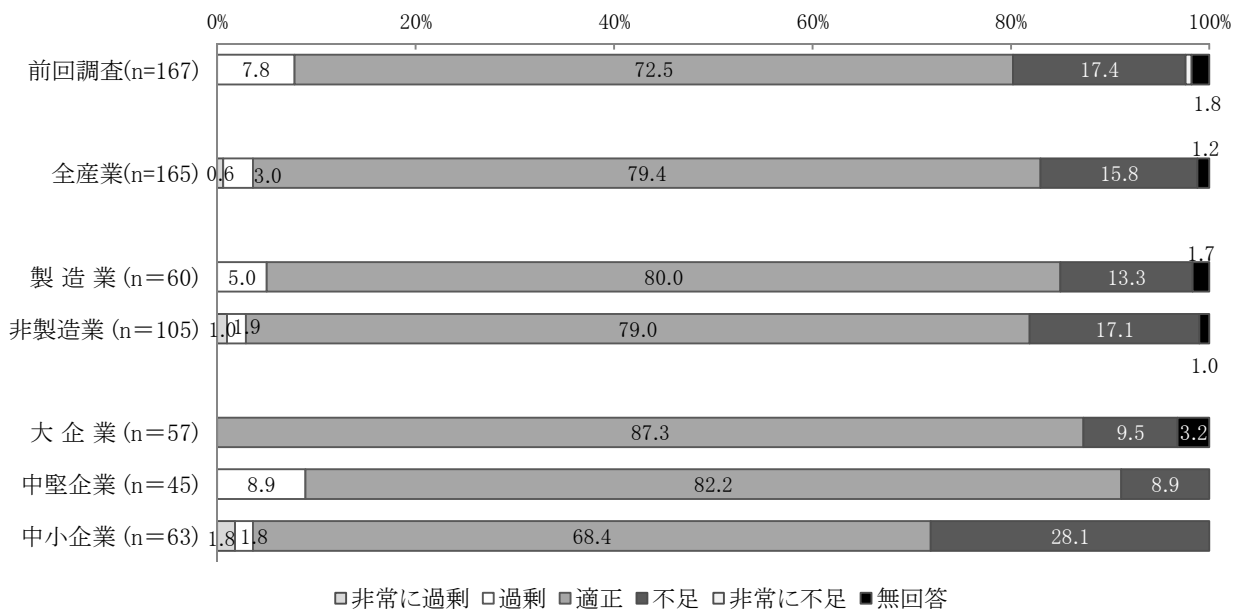


Ⅲ. 設備投資

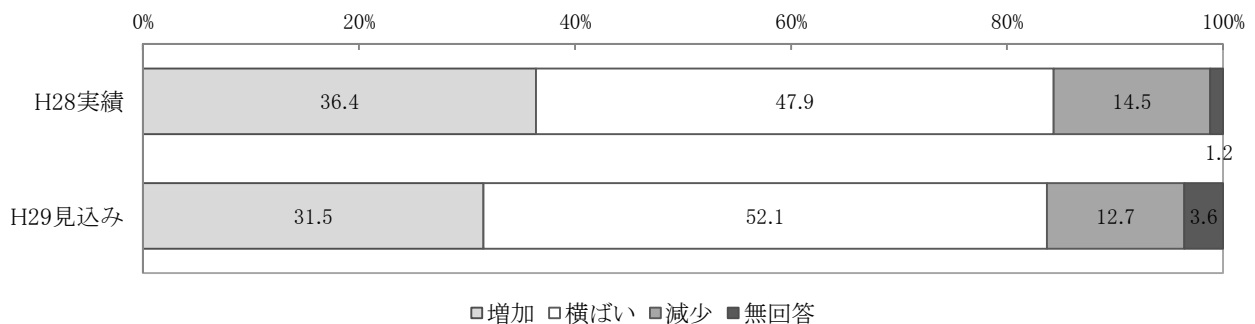
現状の設備水準は適正とする企業が多数で、29年度の設備投資見通しは引き続き増加傾向

- ・ 現在の設備水準については、「適正である」と答えた企業が79.4%で、前回調査（72.5%）を上回り、「過剰」「不足」「非常に不足」がそれぞれ減少となっている。（図表9）
- ・ 設備投資の前年対比については、28年度は「増加した」と答えた企業（36.4%）が「減少した」と答えた企業（14.5%）を上回った。29年度の見込みについても、「増加する」と答えた企業（31.5%）が「減少する」と答えた企業（12.7%）を上回り、引き続き設備投資は増加傾向にある。（図表10）
- ・ 29年度の設備投資が増加するとした理由を尋ねたところ、「設備の維持・更新が必要」（61.5%）が最も多く、「情報技術(IT)投資が必要」（26.9%）、「国内需要が増加する見通し」（21.2%）、「新規事業への進出」（21.2%）が続いている。（図表11）

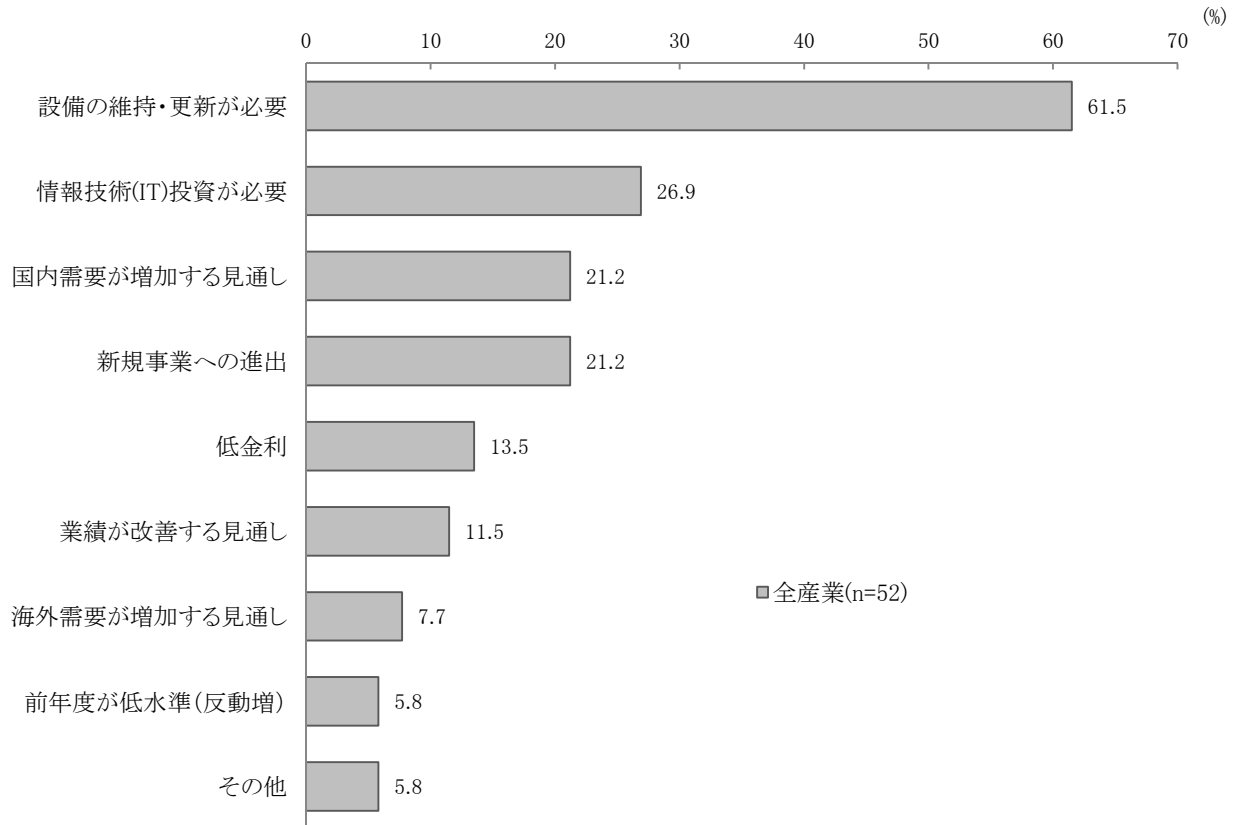
図表9. 現在の設備水準



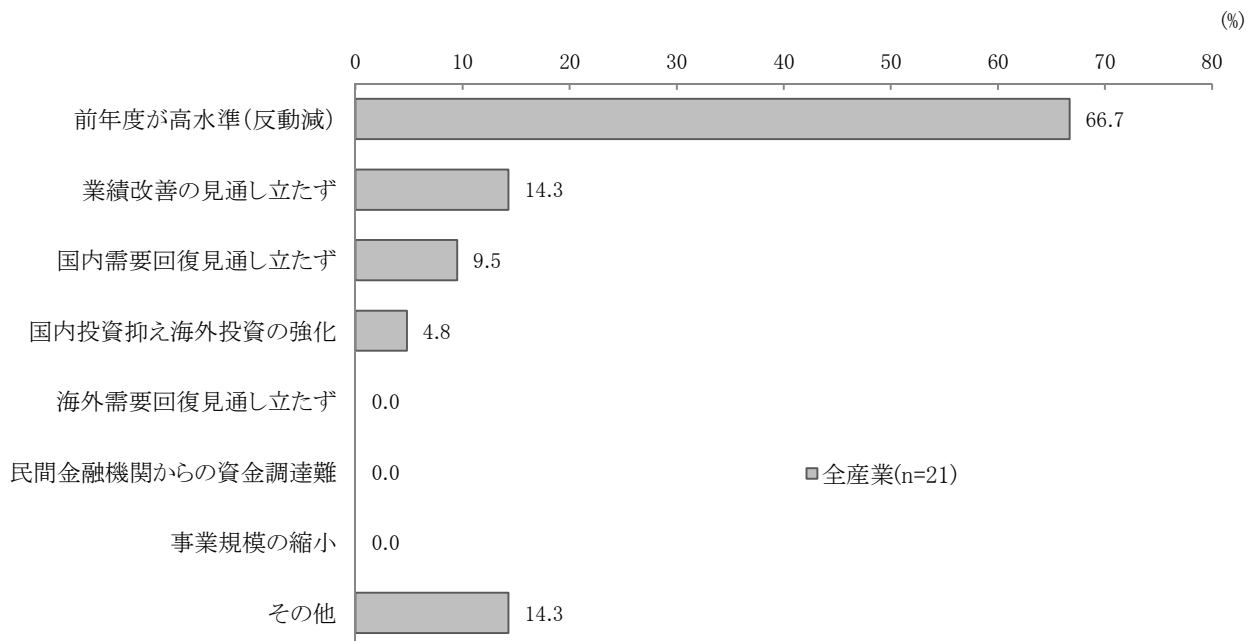
図表10. 設備投資（前年度比）



図表11. 平成29年度の設備投資が増加する要因（3つまで回答）



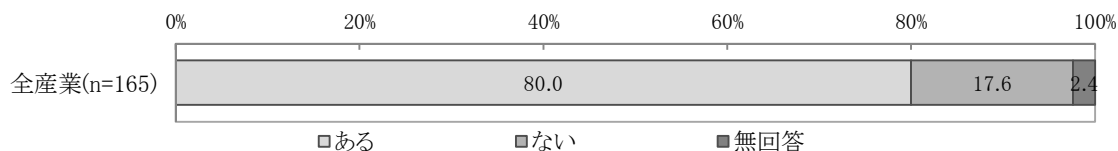
図表12. 平成29年度の設備投資が減少する要因（3つまで回答）



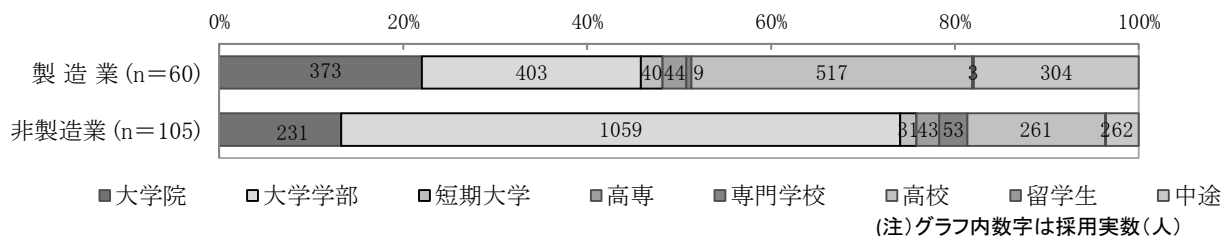
IV. その他

- ・ 2016年度採用活動（2017年4月新卒者等）では80.0%が採用しており、採用者の構成としては製造業では大学院卒、学部卒が同程度、非製造業では学部卒が多く採用されている。（図表13.14）
- ・ 採用活動の充足率については、全産業では64.0%の企業が90%以上と答えており、規模別に見ると大企業（75.0%）に比べ、中堅・中小企業では57.0%と低下する。（図表15）
- ・ 採用予定における北陸地域出身者比率については、全産業では48%の企業が90%以上と答えており、規模別に見ると中堅企業（65.0%）、中小企業（64.0%）に比べ、大企業では30.0%と低下する。（図表16）
- ・ 留学生の採用状況については、全産業では29.0%の企業がすでに採用もしくは可能性があるとして答えており、規模別に見ると大企業（42.9%）に比べ、中堅企業（20.0%）、中小企業（21.1%）と低下する。（図表17）
- ・ 外国人留学生のインターンシップ受入状況については、全産業では15.2%の企業がすでに受け入れているもしくは今後受け入れを検討していると答えており、規模別に見ると大企業（22.2%）に比べ、中堅企業（11.1%）、中小企業（10.6%）と低下する。（図表18）

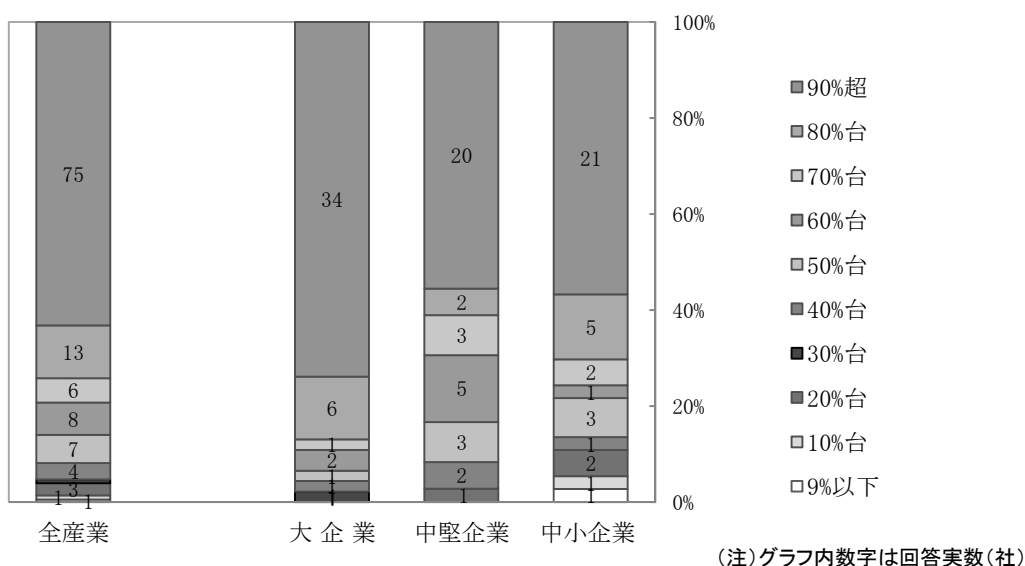
図表13. 2016年度採用活動の状況



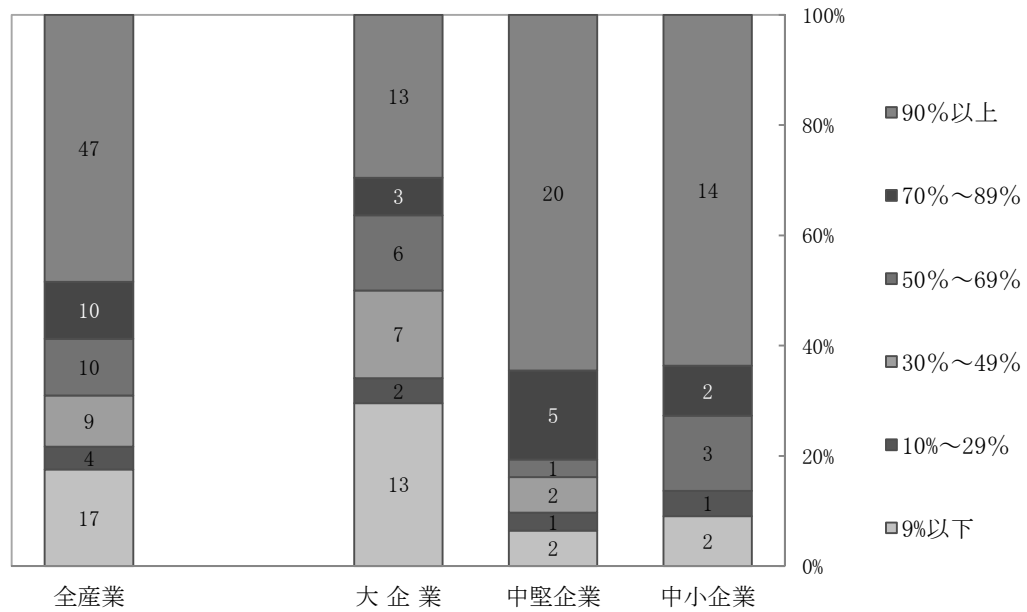
図表14. 採用者の構成及び人数



図表15. 充足率

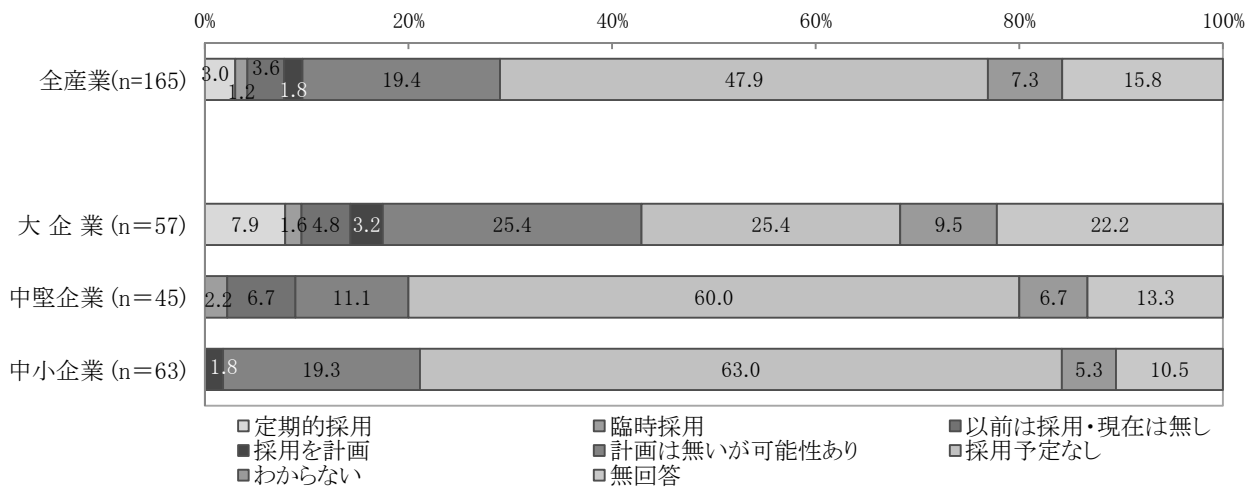


図表16. 北陸地域出身者比率

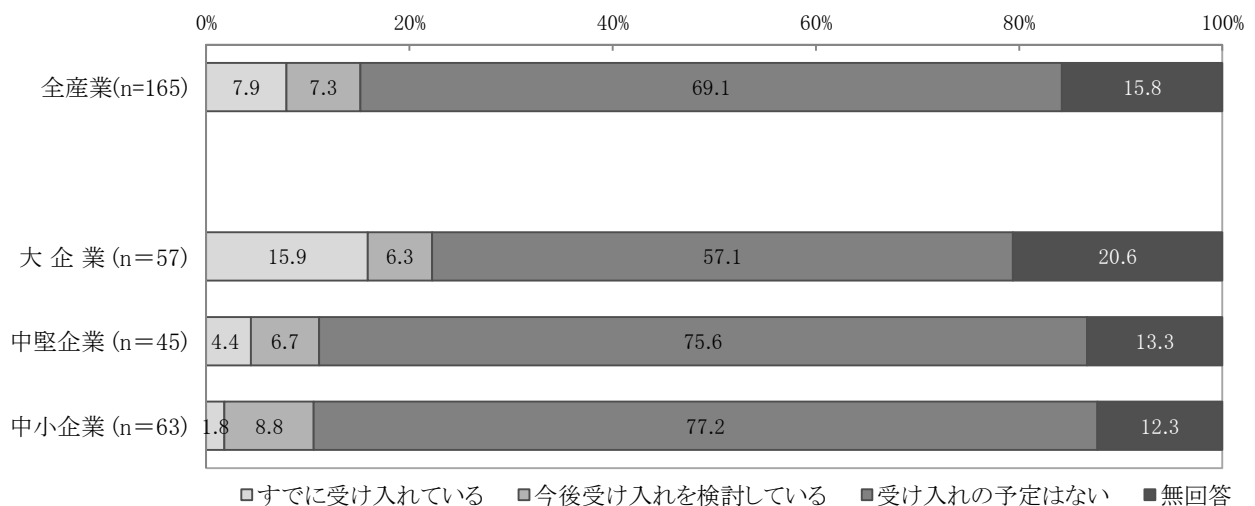


(注) グラフ内数字は回答実数(社)

図表17. 留学生の採用状況



図表18. 外国人留学生のインターンシップ受入状況

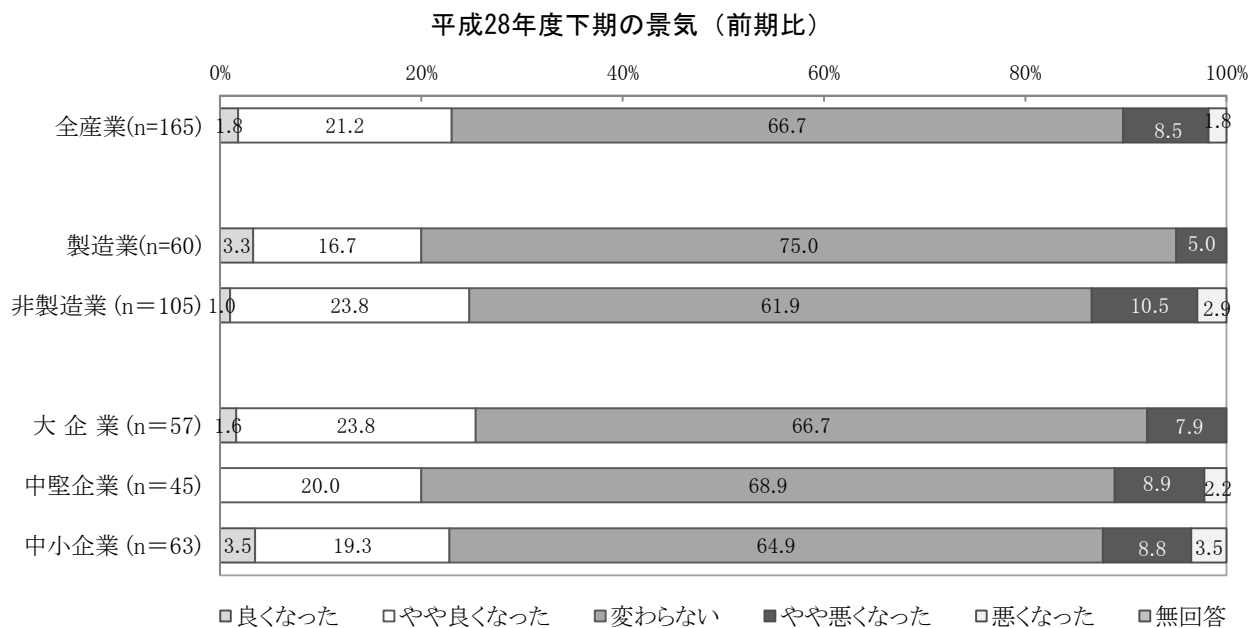


参考(アンケート調査結果)

I 景気動向

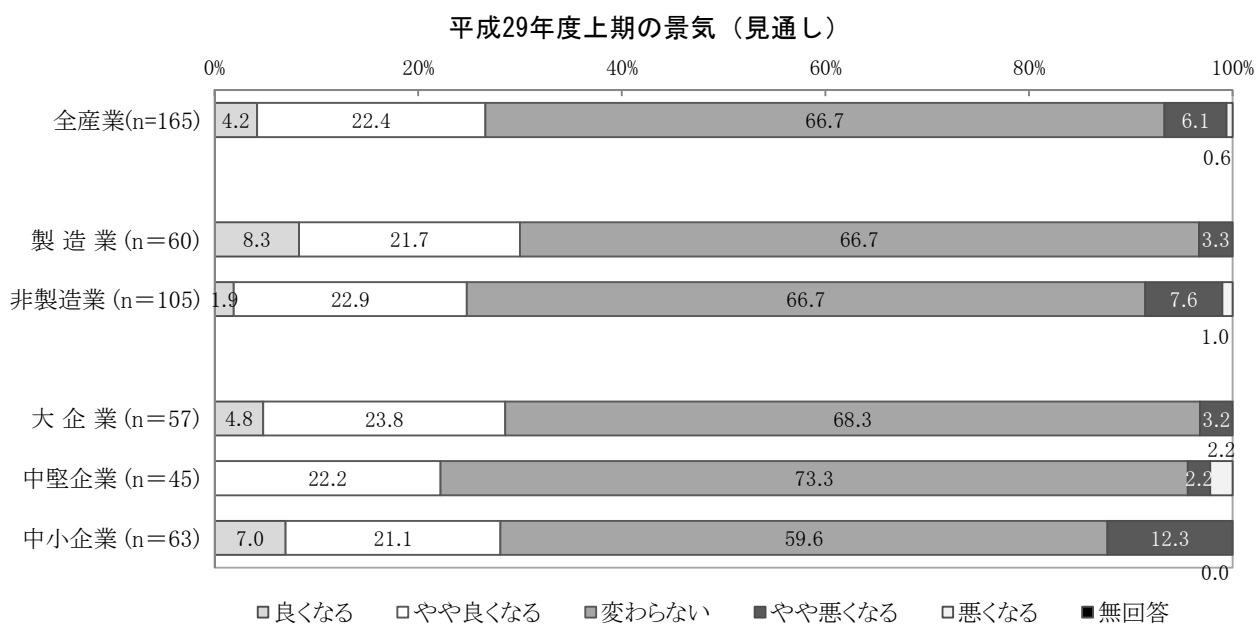
Q.1

北陸地域の平成28年度下期(10月～3月)の景気は平成28年度上期(4月～9月)に比べてどのように変化したと思われますか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



Q.2

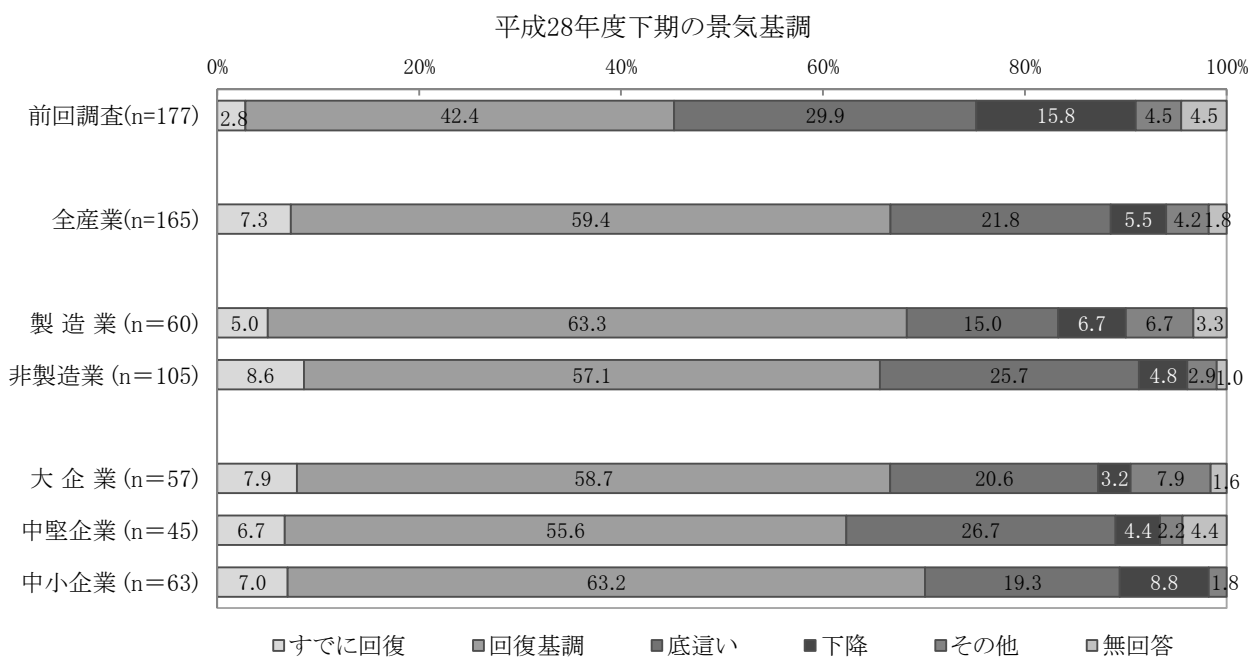
北陸地域の平成29年度上期(4月～9月)の景気は平成28年度下期(10月～3月)に比べてどのように変化すると思われますか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



I 景気動向

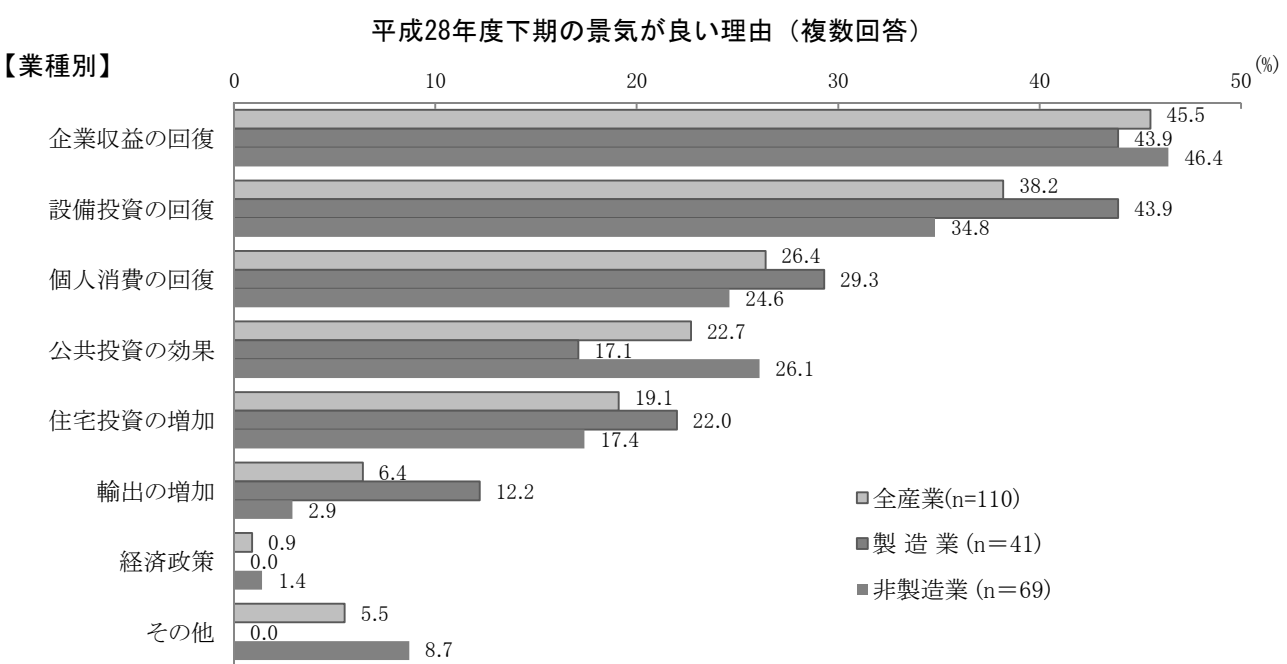
Q.3

平成28年度下期(10月～3月)の北陸地域の景気は基調として以下のどの局面にあると判断されていますか。



Q.4

Q.3で「すでに回復」「回復基調」と回答された方へ
平成28年度下期(10月～3月)の景気が良いのは何によるものだと思いますか。(複数回答可)



◎経済政策の具体的な回答

- ・北陸新幹線効果

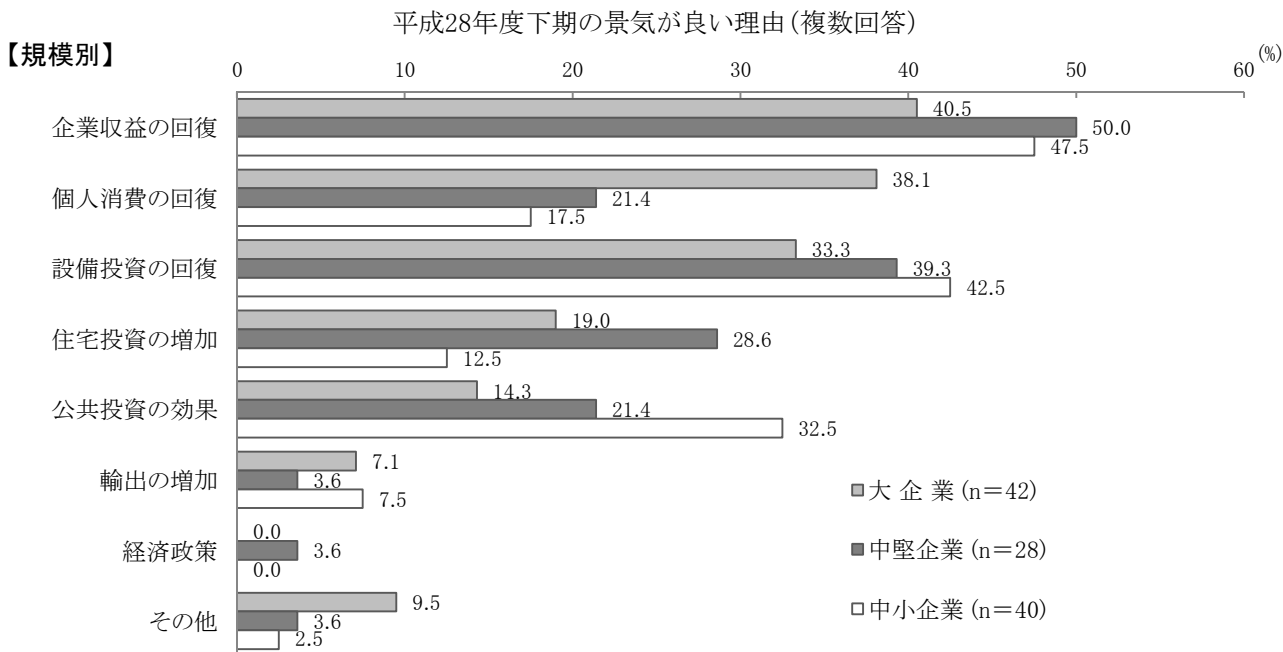
◎その他の具体的な回答

- ・北陸新幹線開業
- ・観光関連が引き続き牽引
- ・有効求人倍率の上昇
- ・インバウンド効果
- ・企業の生産活動の回復

I 景気動向

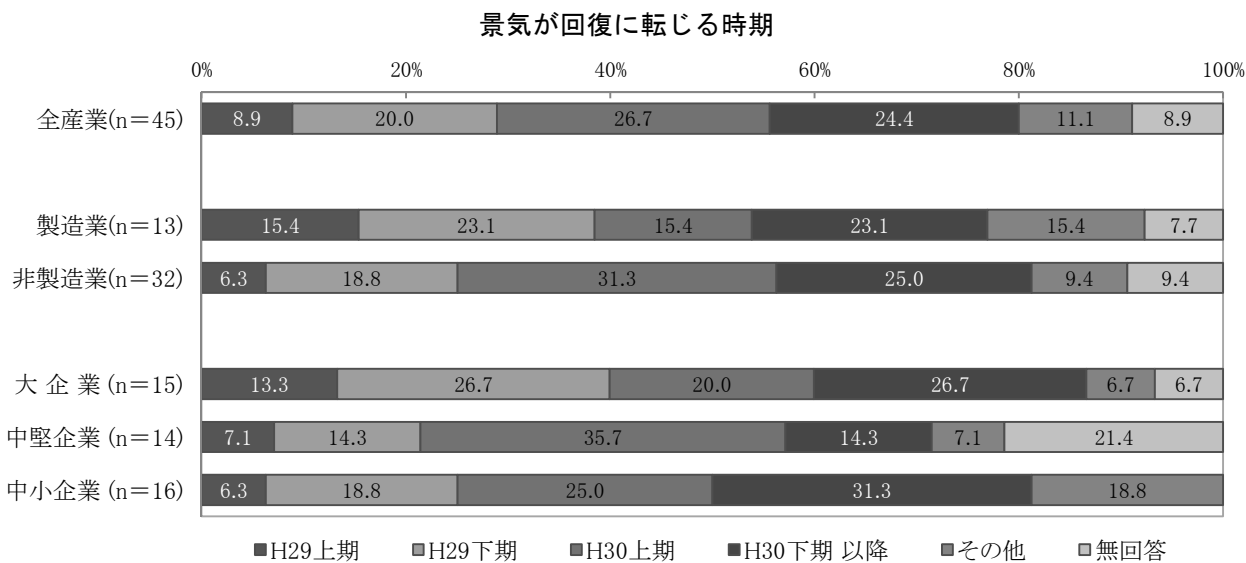
Q.4

Q.3で「すでに回復」「回復基調」と回答された方へ
 平成28年度下期(10月～3月)の景気が良いのは何によるものだと思いますか。(複数回答可)



Q.5

Q.3で「底這い」「下降」と回答された方へ
 北陸地域の景気が今後回復に転じると予想される時期はいつ頃と思われますか。



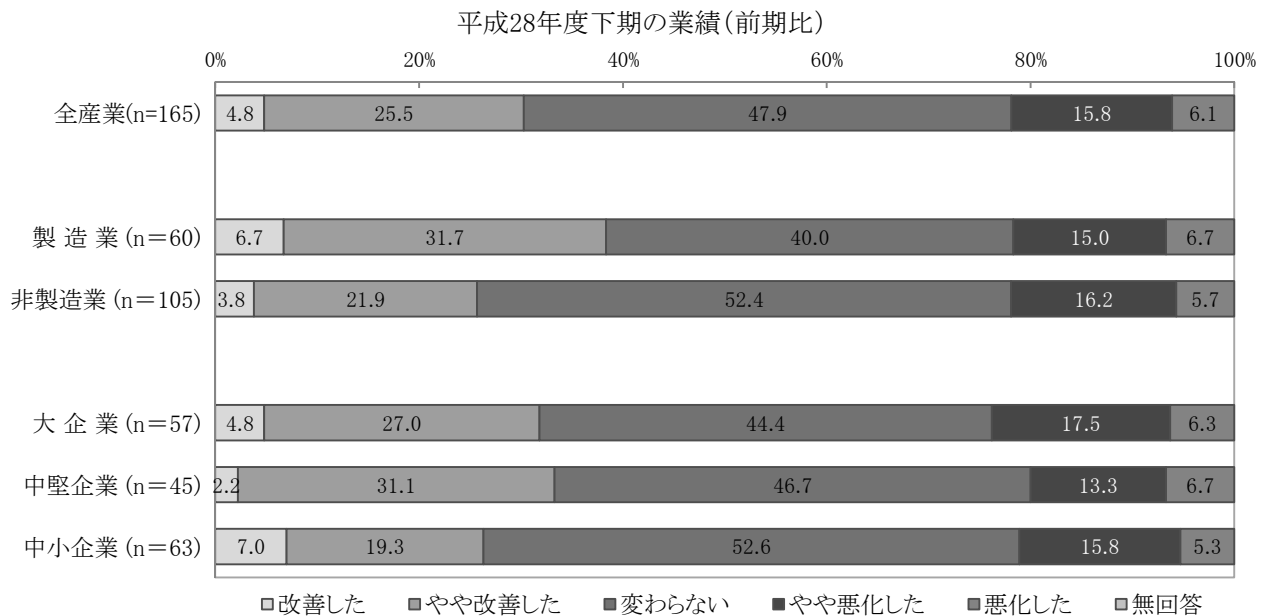
◎その他の具体的な回答

- ・ 時期未定
- ・ しばらくこのまま
- ・ 緩やかな回復がしばらく続くと思われるが、人出不足が懸念材料
- ・ 業務を通じて景気回復の手応えがなく、時期は見通せない

II 業績

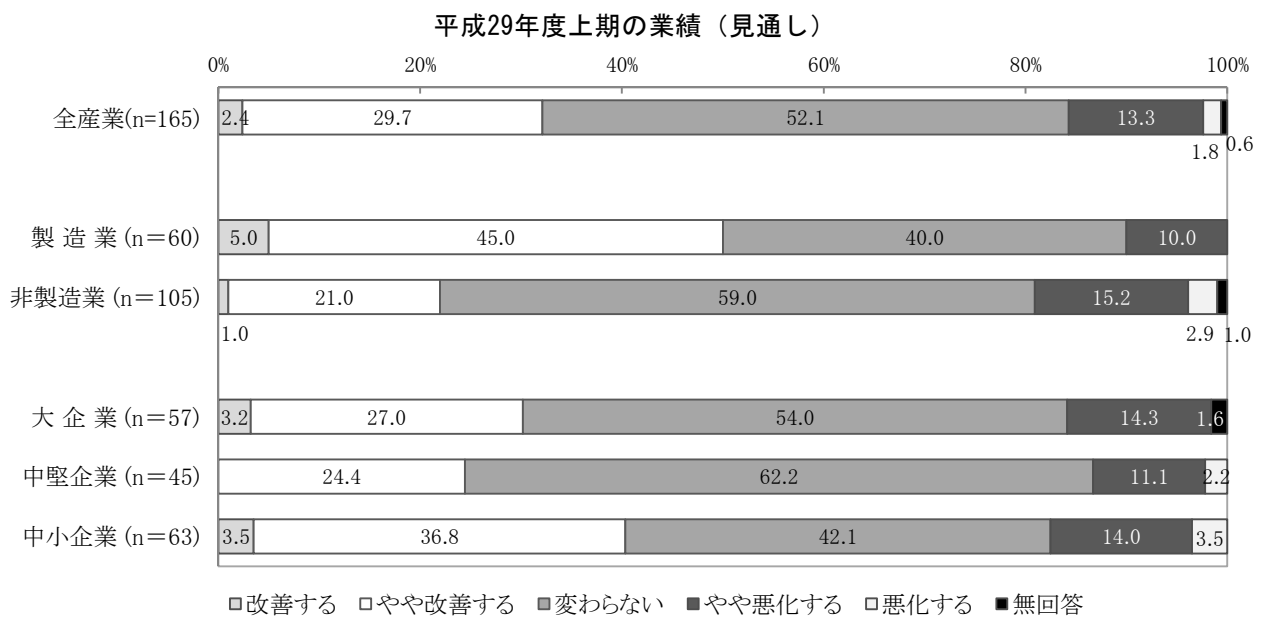
Q.1

貴社の平成28年度下期(10月～3月)の業績は、平成28年度上期(4月～9月)に比べてどのように変化しましたか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



Q.2

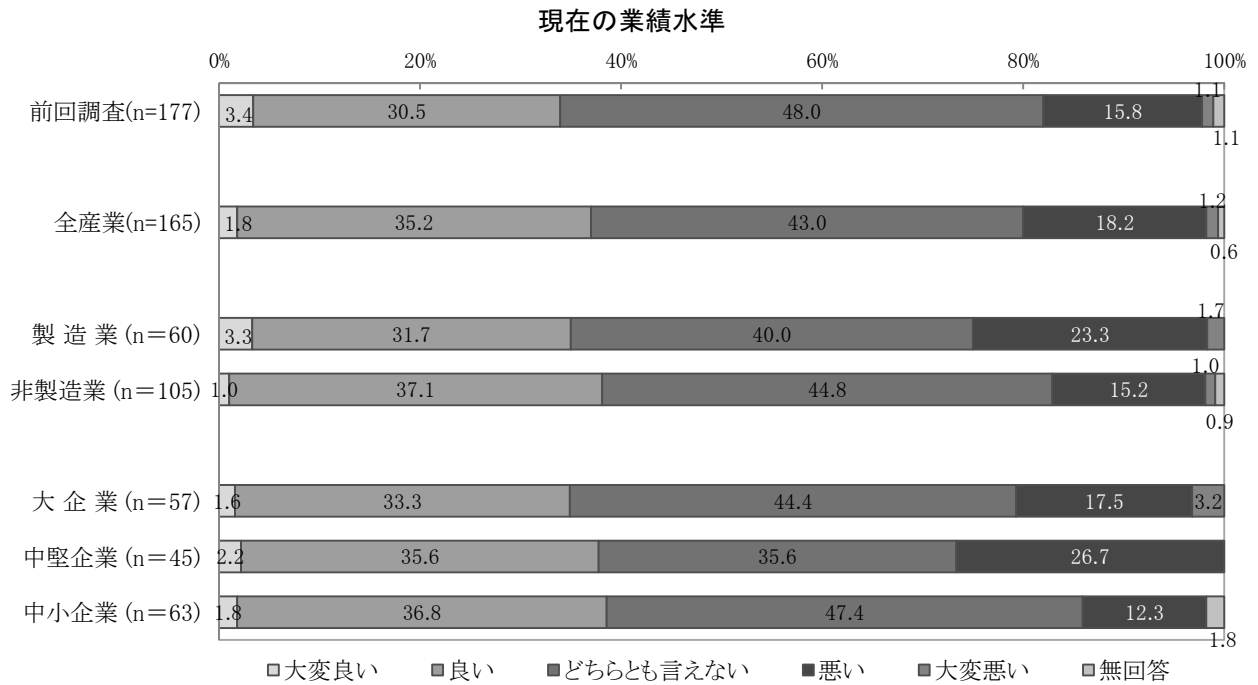
貴社の平成29年度上期(4月～9月)の業績は、平成28年度下期(10月～3月)に比べてどのように変化すると思われますか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



II 業績

Q.3

現在の貴社の業績水準についてどう思われますか。

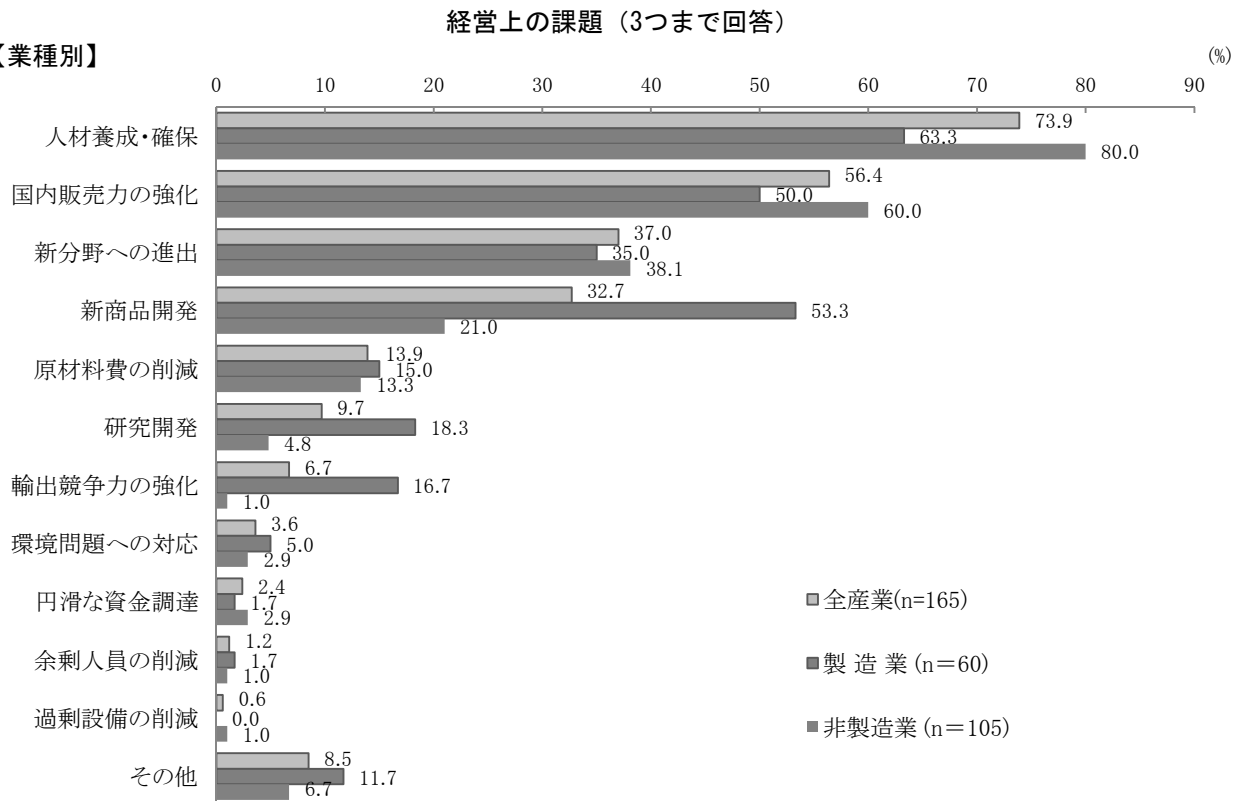


II 業績

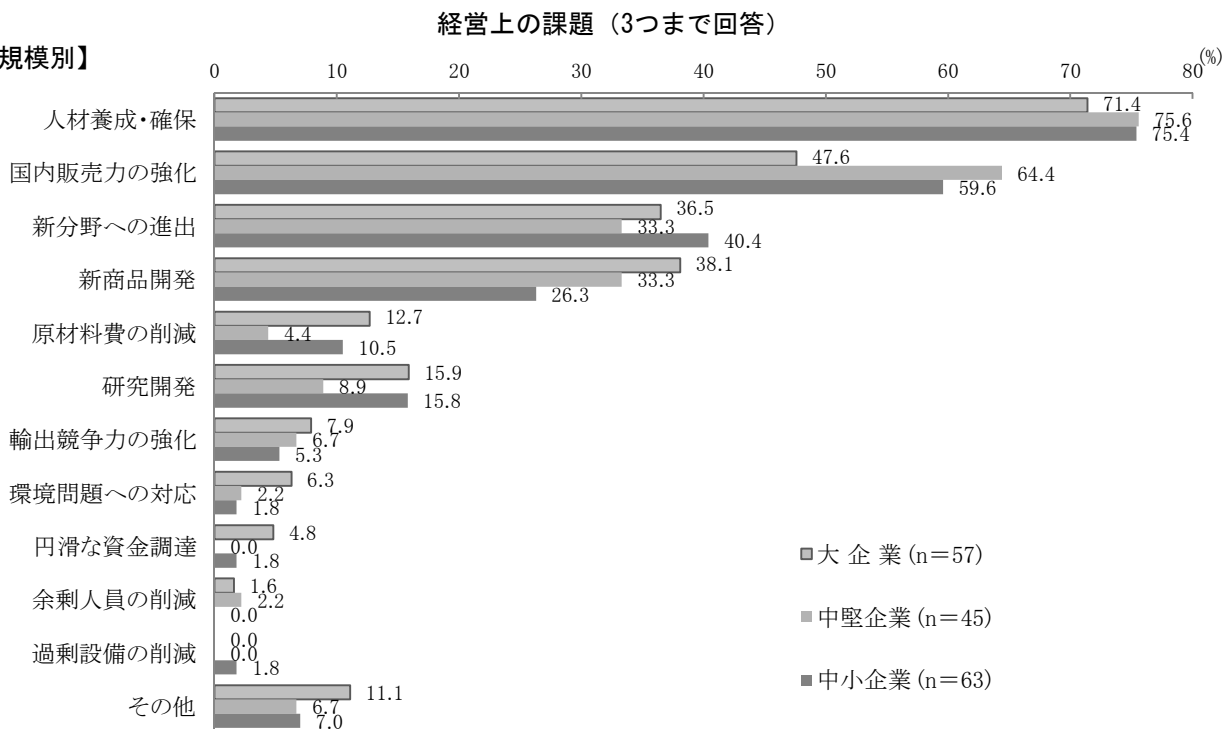
Q.4

貴社にとっての経営上の課題は、どのような点でしょうか。(3つまで回答可)

【業種別】



【規模別】



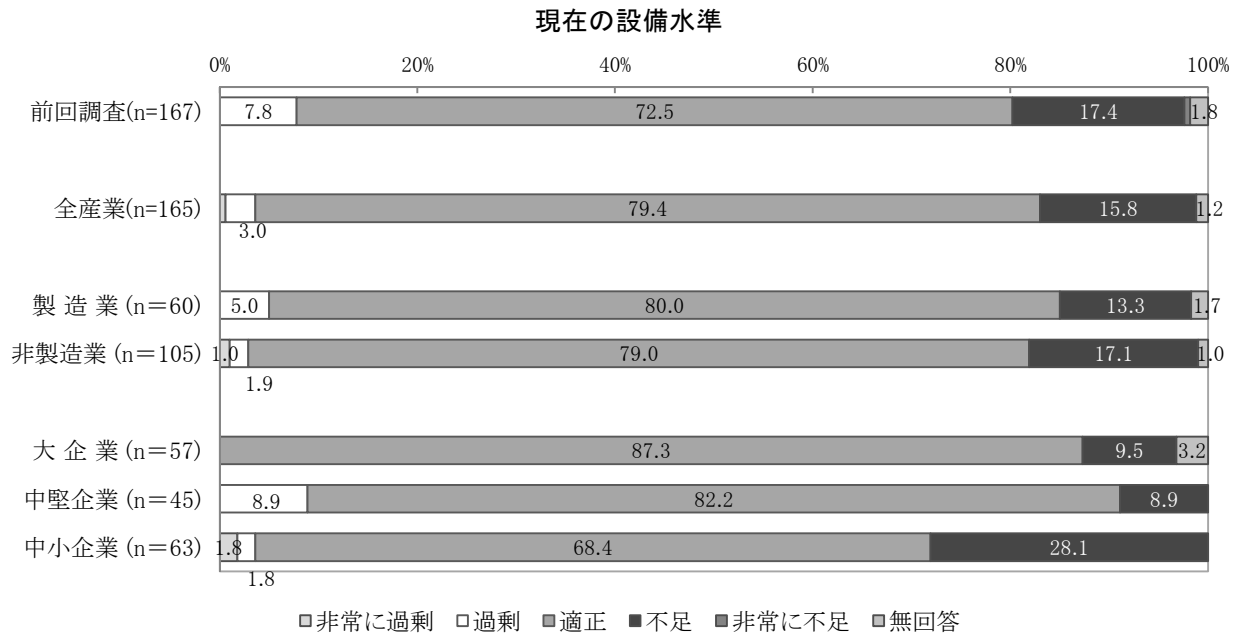
◎その他の具体的な回答

- ・国内競争力の強化
- ・10年後の計画図、30年後の計画図
- ・原材料コストの急激な上昇への対応
- ・老朽設備の更
- ・設備不足
- ・需要減に対する構えづくり
- ・残業時間規制に対応する中でのモノ作りの負荷時間検出
- ・商圏人口、事業所の減少、利幅の縮小
- ・業界を取り巻く変化への迅速かつ柔軟な対応
- ・環境変化への対応強化
- ・適切なITや設備投資
- ・新興国経済の安定
- ・財務基盤の充実
- ・ペーパーレスなど効率化一層の推進

III 設備投資

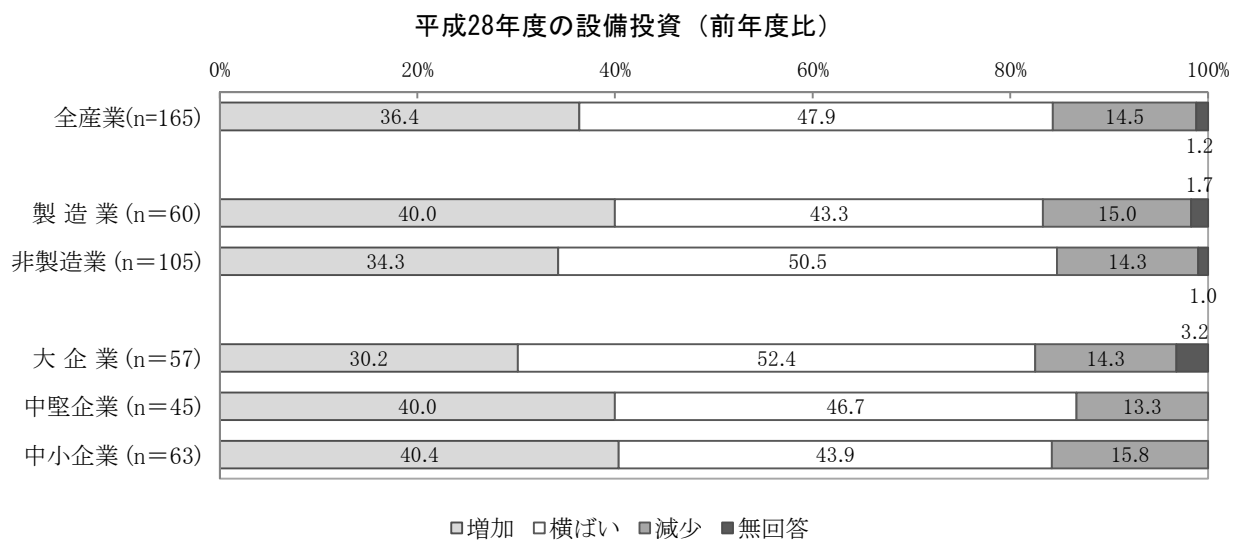
Q.1

貴社の現在の設備水準はどうか。



Q.2

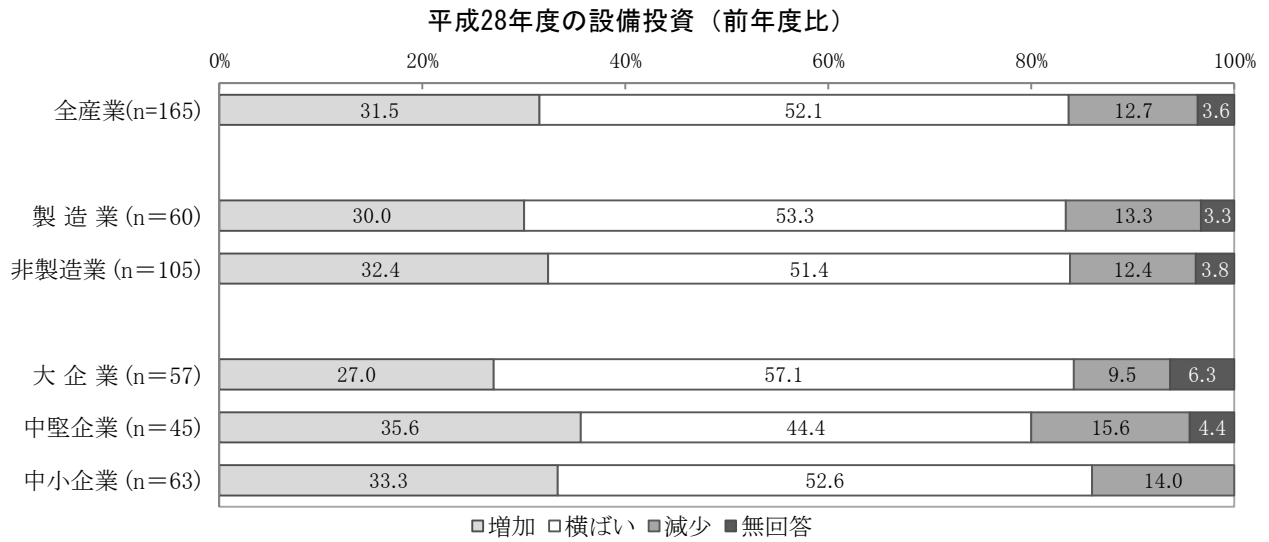
貴社の平成28年度の設備投資は平成27年度に比べ、増加しましたか、減少しましたか。



III 設備投資

Q.3

貴社の平成29年度の設備投資は平成28年度に比べ、増加する見込みですか、減少する見込みですか。



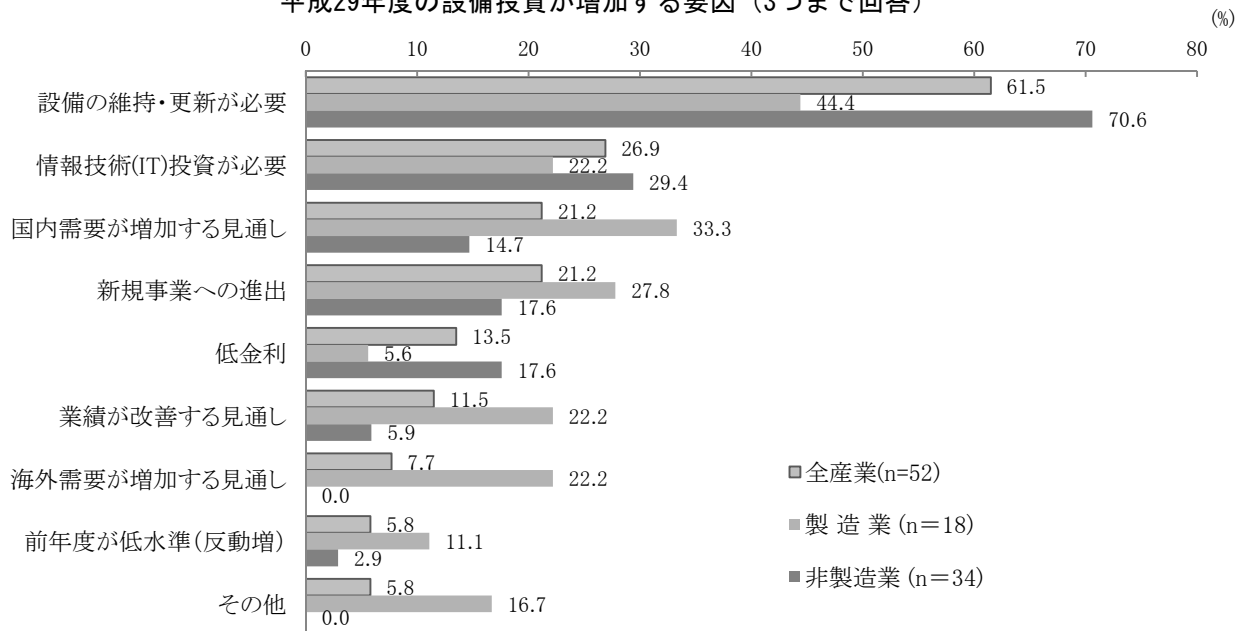
III 設備投資

Q.4

Q.3で「増加する」と回答された方へ

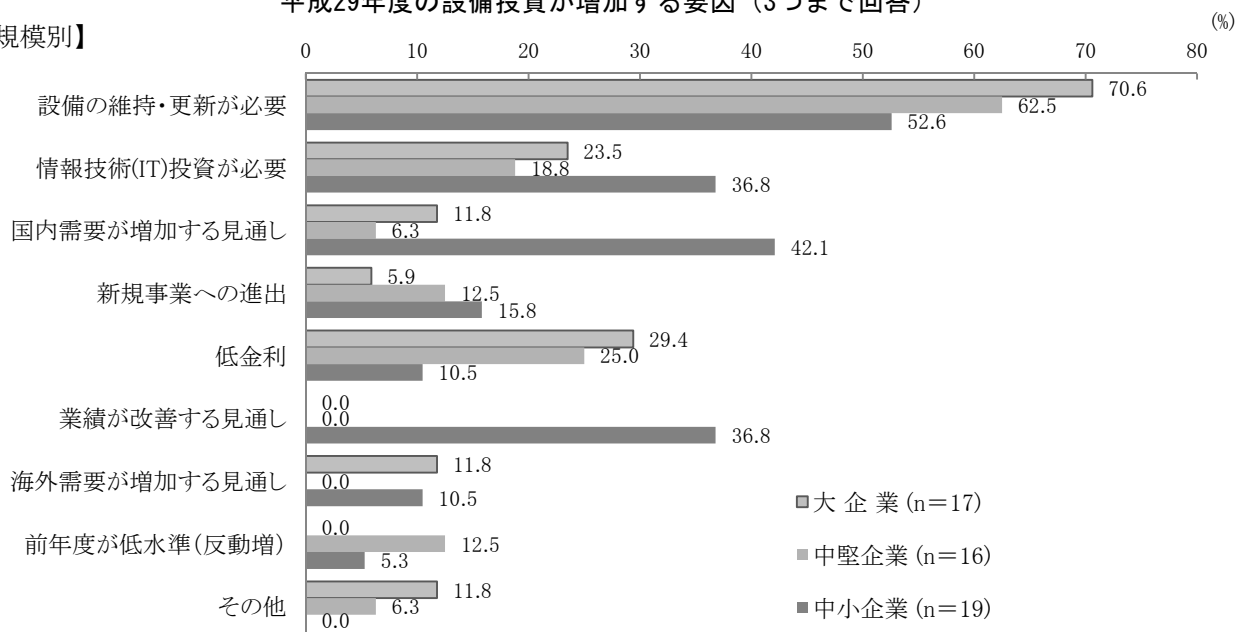
平成29年度の設備投資が、平成28年度と比較して増加する要因をお答えください。(3つまで回答可)

平成29年度の設備投資が増加する要因 (3つまで回答)



平成29年度の設備投資が増加する要因 (3つまで回答)

【規模別】



◎その他の具体的な回答

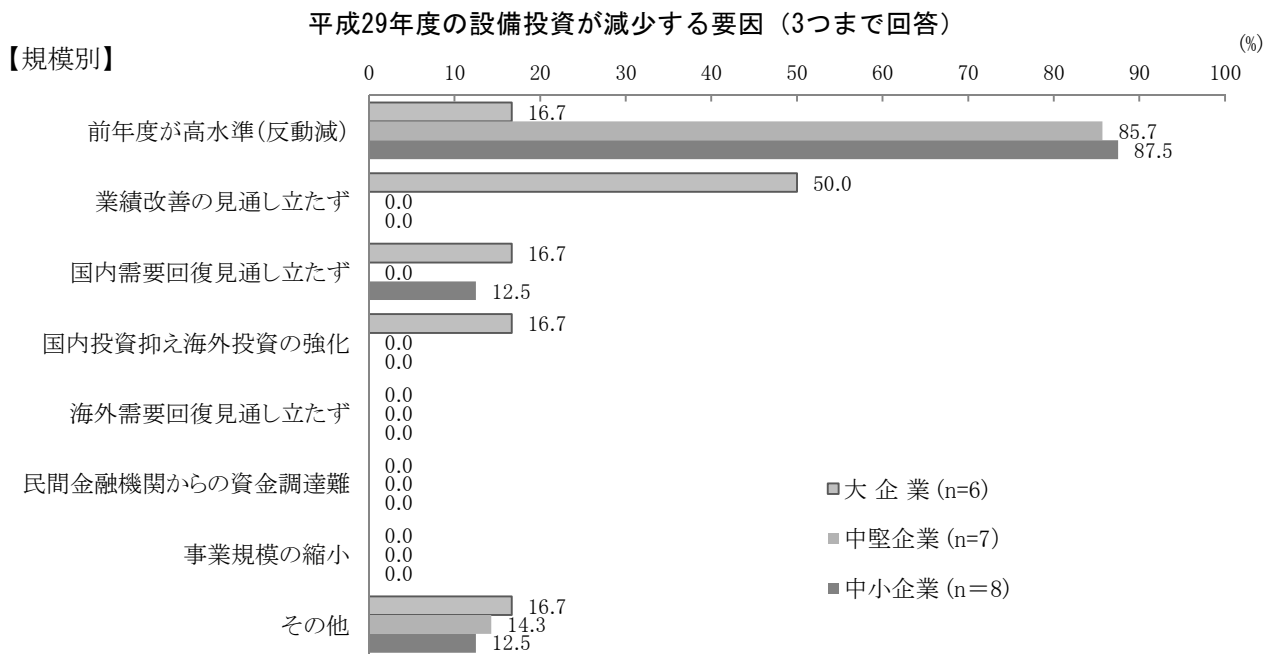
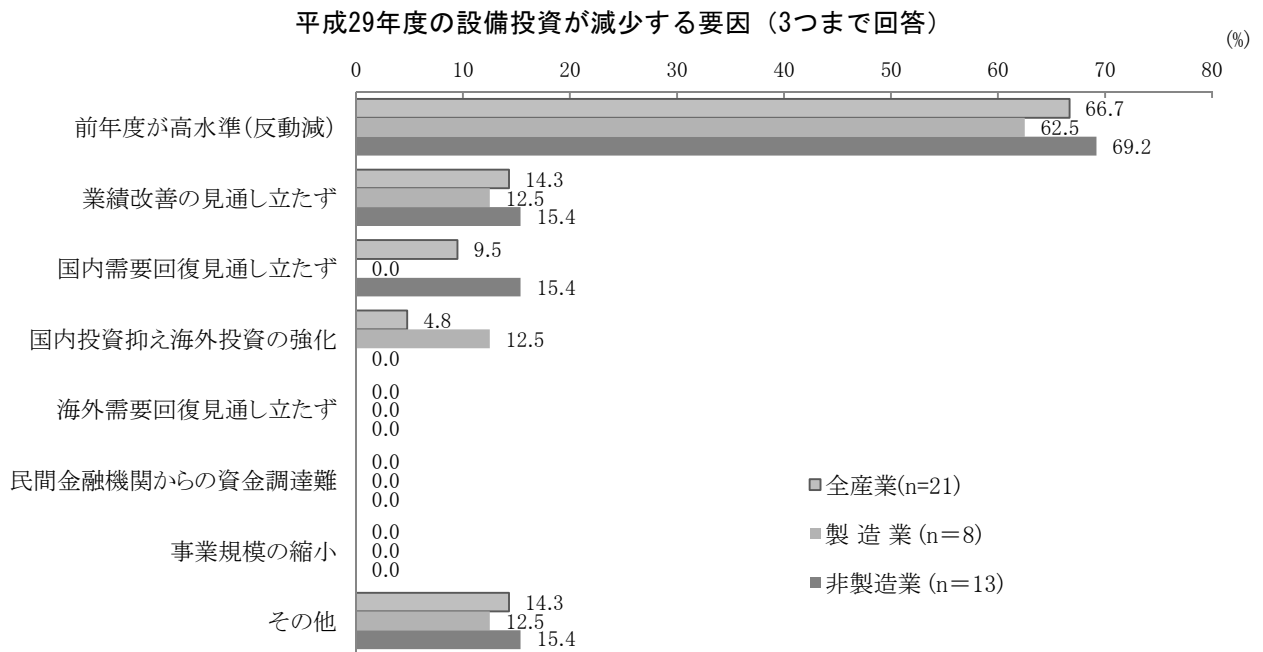
- ・新製品対応
- ・生産効率化
- ・研究所新設

III 設備投資

Q.5

Q.3で「減少する」と回答された方へ

平成29年度の設備投資が、平成28年度と比較して減少する要因をお答えください。(3つまで回答可)



◎その他の具体的な回答

- ・前年度の設備投資が多かったからそれよりも少ない予定
- ・平成28年に大型設備投資を行ったため
- ・設備のスリム化、シンプル化による維持コスト(電気代及び保守費)の削減を進めるため

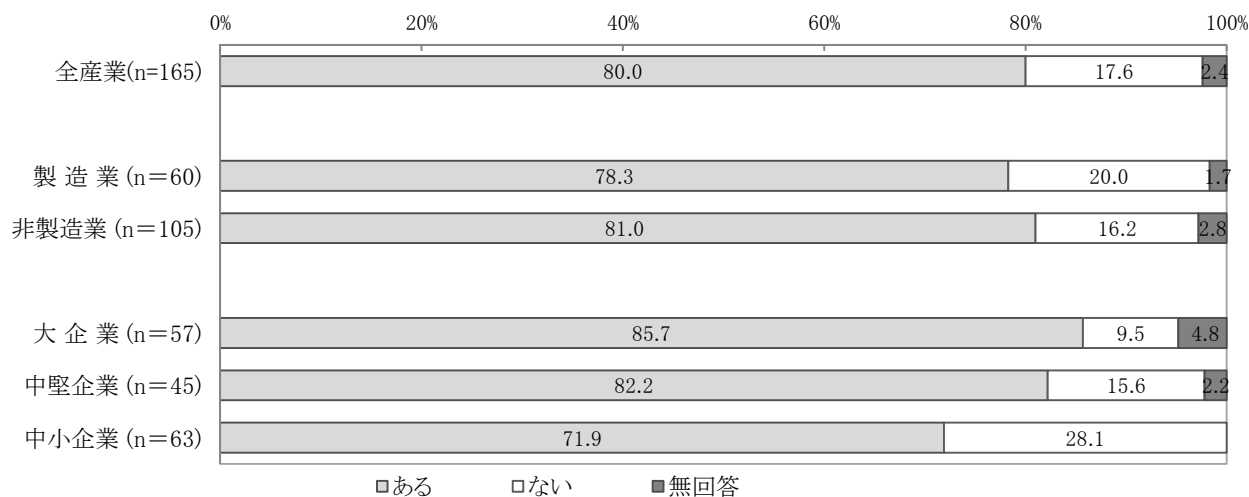
IV その他

1. 貴社の採用活動に関してお聞きます。

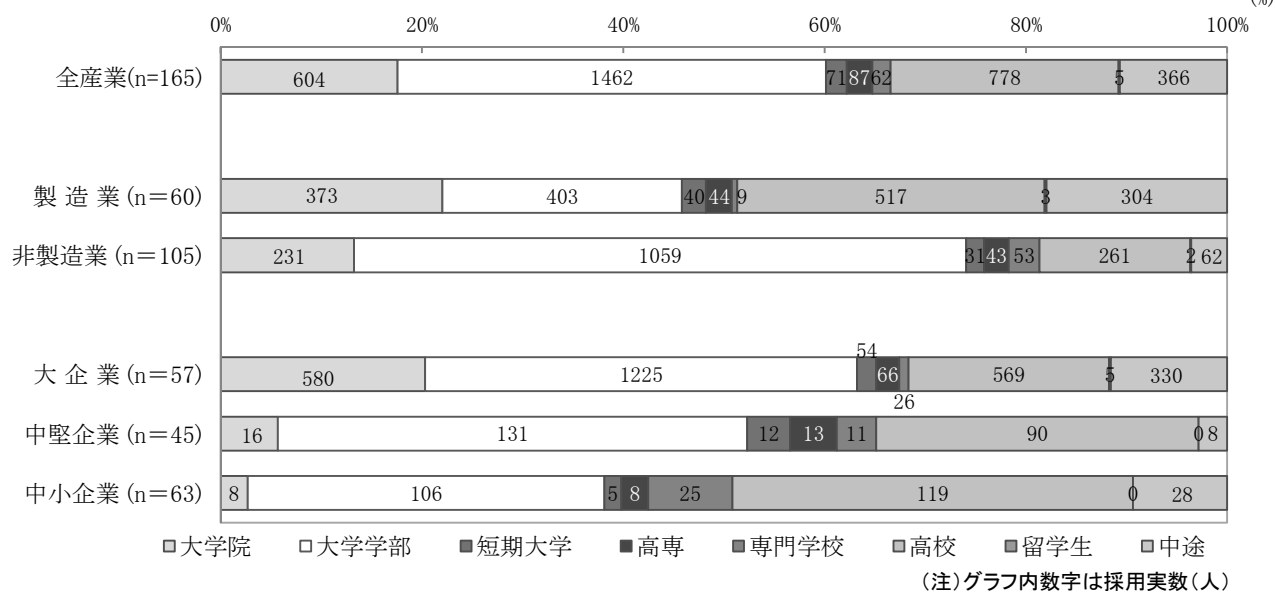
Q.1

2016年度新卒者の採用はございましたか。またその構成及び人数をお聞かせください。

2016年度新卒者の採用



採用者の構成及び人数



採用予定人数

【採用人数】	単位:人								
	大学院	大学学部	短期大学	高専	専門学校	高校	留学生	中途	計
全産業	604	1462	71	87	62	778	5	366	3435
製造業	373	403	40	44	9	517	3	304	1693
非製造業	231	1059	31	43	53	261	2	62	1742
大企業	580	1225	54	66	26	569	5	330	2855
中堅企業	16	131	12	13	11	90	0	8	281
中小企業	8	106	5	8	25	119	0	28	299

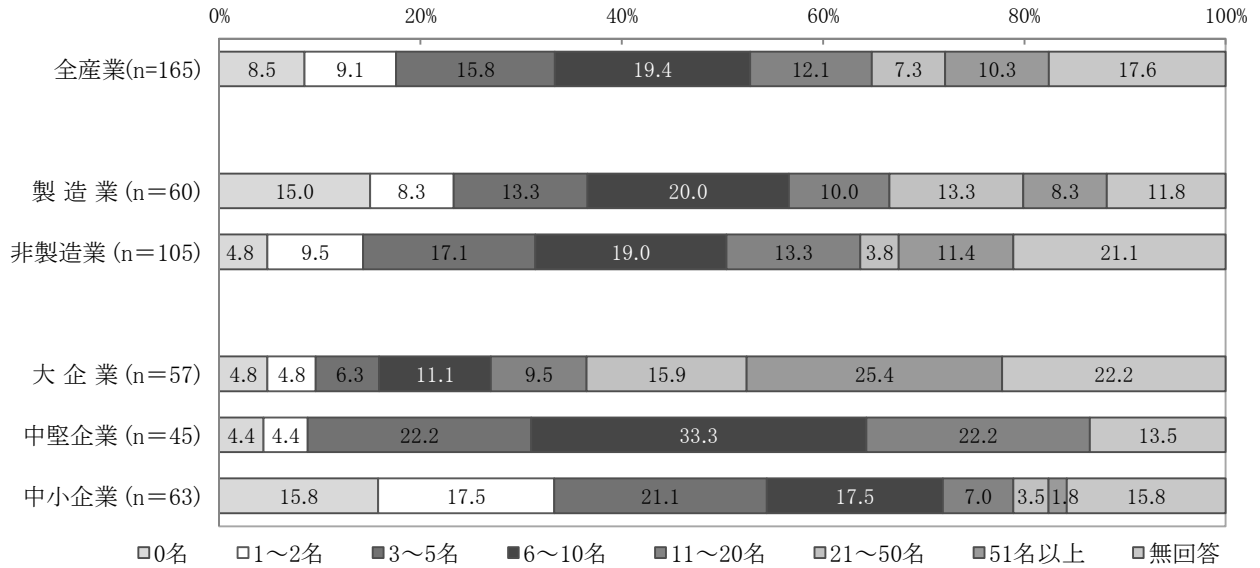
IV その他

1. 貴社の採用活動についてお聞きします。

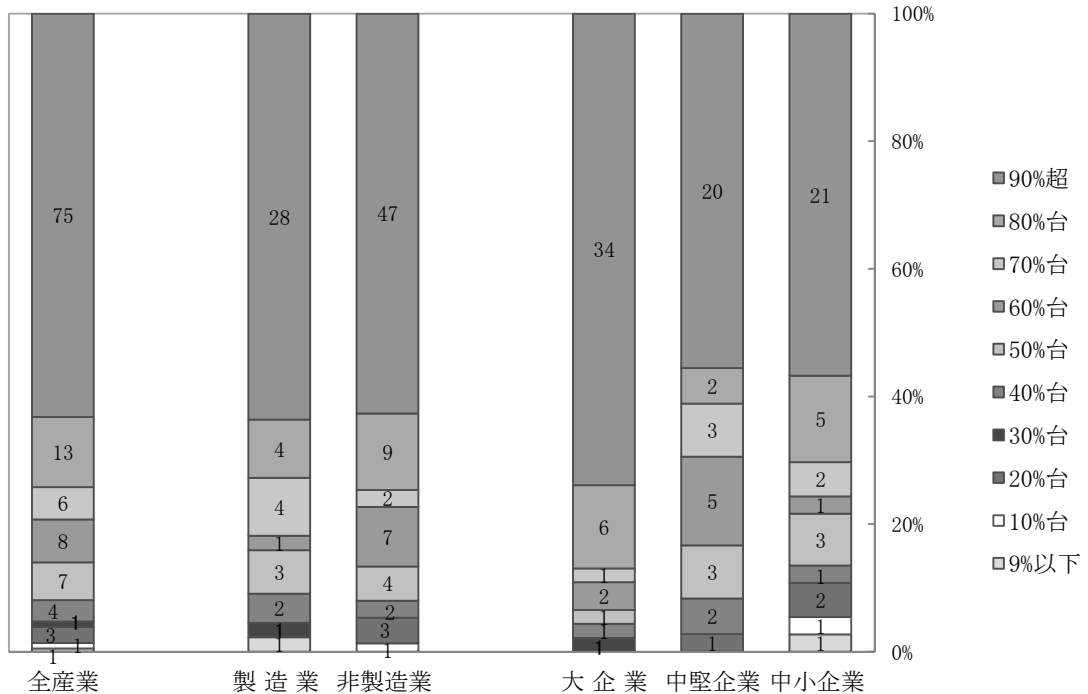
Q.2

2016年度新卒者等の採用予定(目標)人数は何名でしたか。また充足率をお聞かせください

2016年度新卒者の採用目標



充足率



(注意) グラフ内数字は回答実数(社)

IV その他

1. 貴社の採用活動に関してお聞きします。

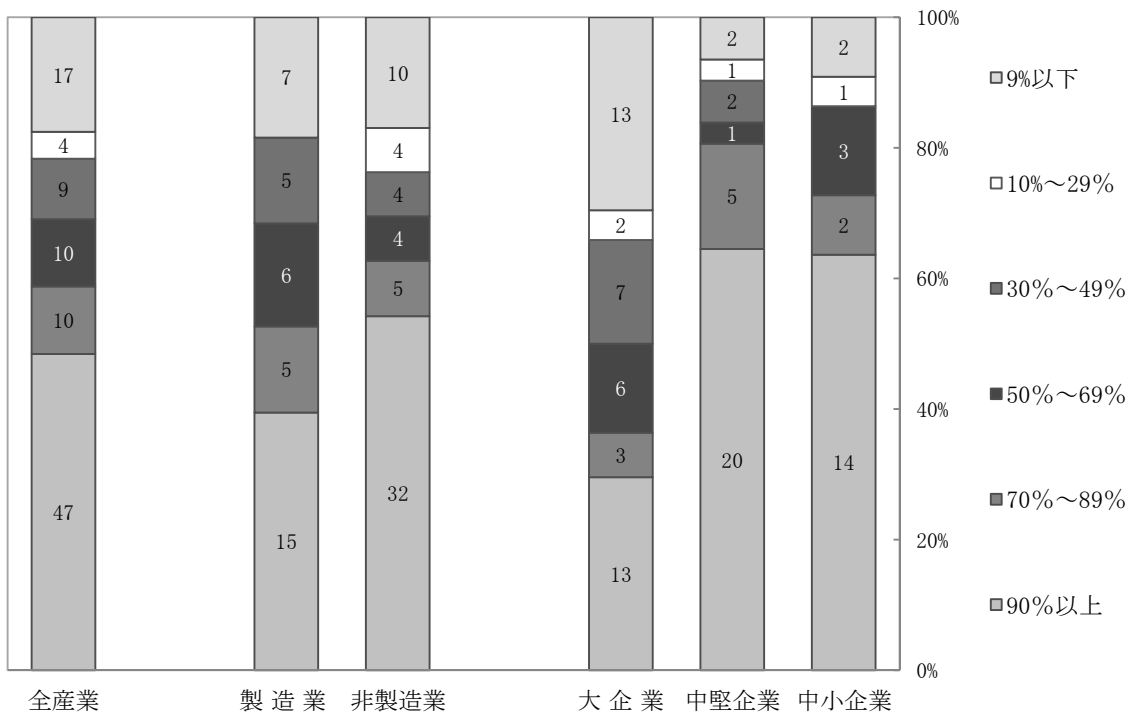
Q.3

Q1のうち北陸出身者（富山、石川、福井県別）の採用予定人数は何名ですか。

採用予定人数（北陸出身者）

【採用人数】	富山県出身			石川県出身			福井県出身			計		
	大学院	大学学部	計	大学院	大学学部	計	大学院	大学学部	計	大学院	大学学部	計
全産業	48	245	293	34	228	262	28	133	161	110	606	716
製造業	27	110	137	11	72	83	17	31	48	55	213	268
非製造業	22	134	156	23	156	179	11	102	113	56	392	448
大企業	44	152	196	31	153	184	27	120	147	102	425	527
中堅企業	4	61	65	3	46	49	1	10	11	8	117	125
中小企業	0	32	32	0	29	29	0	3	3	0	64	64

北陸出身者比率



(注) グラフ内数字は回答実数(社)

IV その他

1. 貴社の採用活動に関してお聞きます。

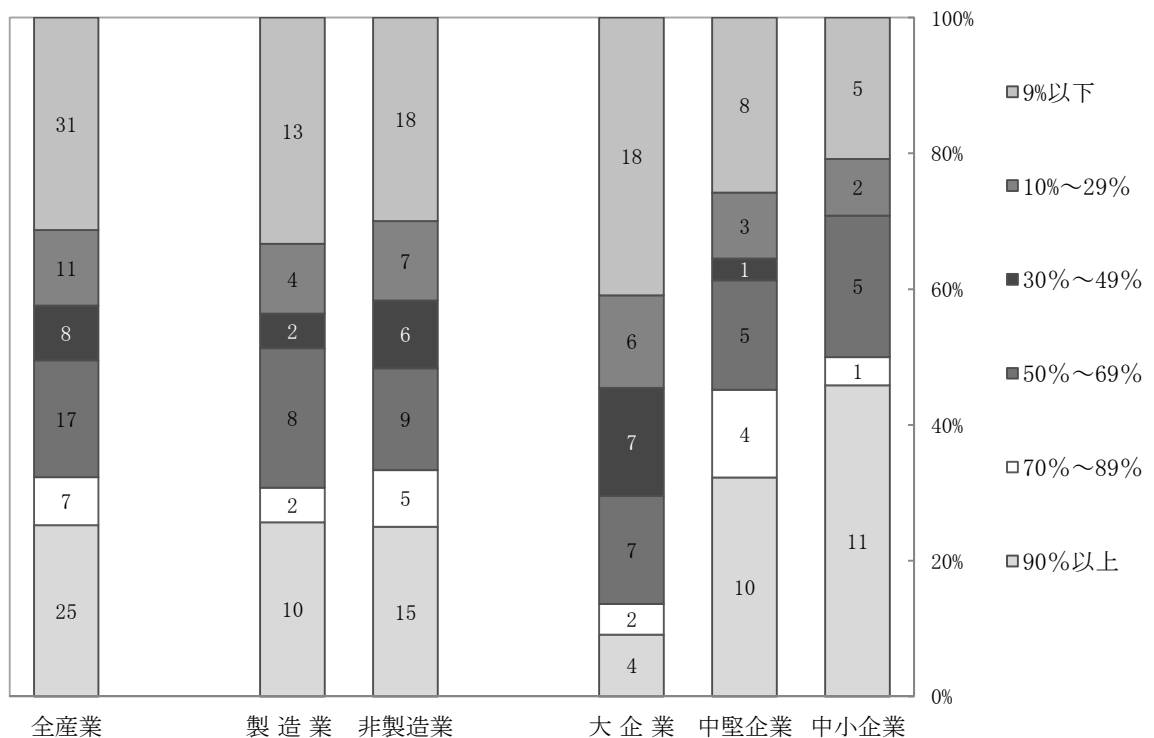
Q.4

Q1のうち北陸地域大学出身者（富山、石川、福井県別）の採用予定人数は何名ですか。

採用予定人数（北陸地域大学出身者）

【採用人数】	富山県内大学			石川県内大学			福井県内大学			計		
	大学院	大学学部	計	大学院	大学学部	計	大学院	大学学部	計	大学院	大学学部	計
全産業	21	113	134	56	154	210	12	35	47	89	302	391
製造業	15	62	77	28	64	92	5	13	18	48	139	187
非製造業	6	51	57	28	90	118	7	22	29	41	163	204
大企業	15	66	81	43	88	131	10	29	39	68	183	251
中堅企業	3	25	28	13	37	50	1	3	4	17	65	82
中小企業	3	22	25	0	29	29	1	3	4	4	54	58

北陸地域大学出身者比率



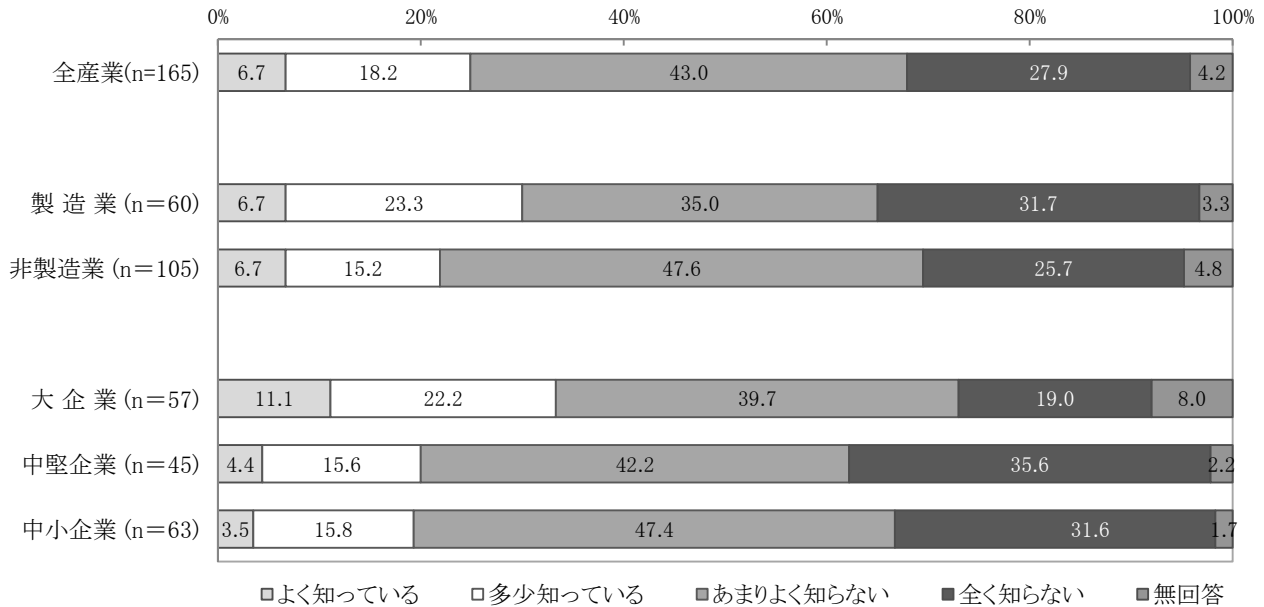
(注) グラフ内数字は回答実数(社)

IV その他

1. 貴社の採用活動についてお聞きします。

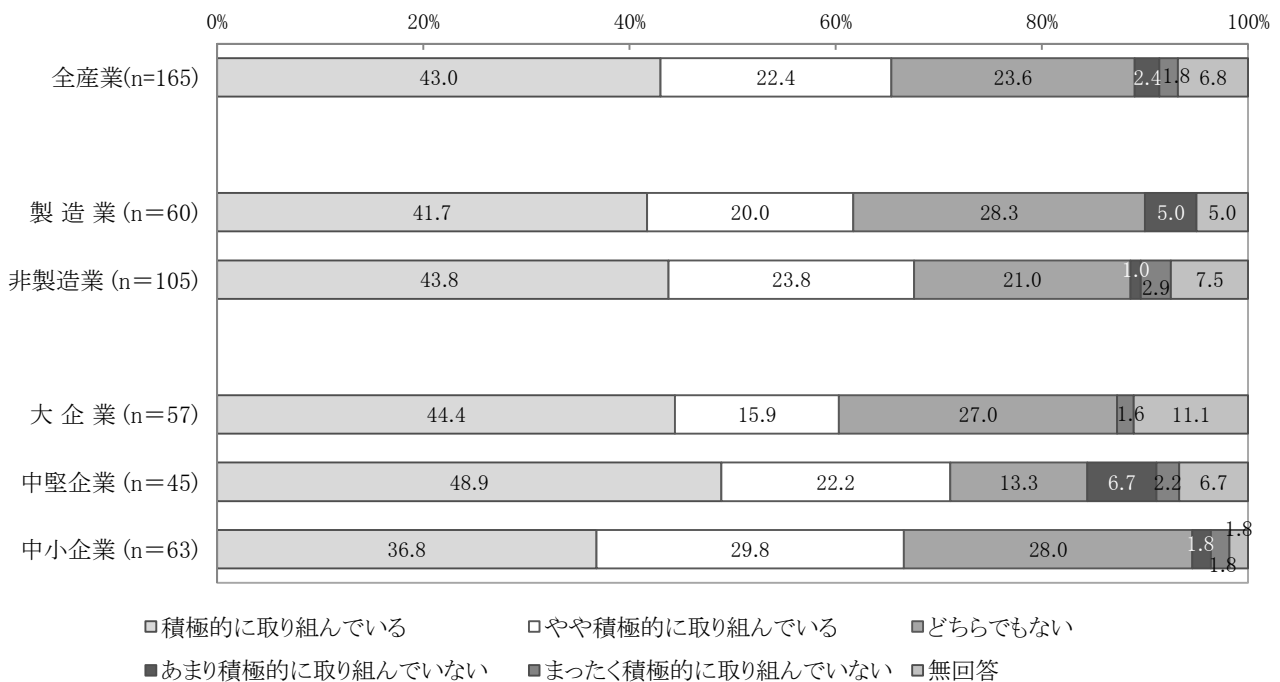
Q.5

「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」についてお聞きします。



Q.6

採用選考にあたり、地元（北陸出身者、北陸地域大学出身者）からの採用について、どの程度積極的に取り組んでいますか。

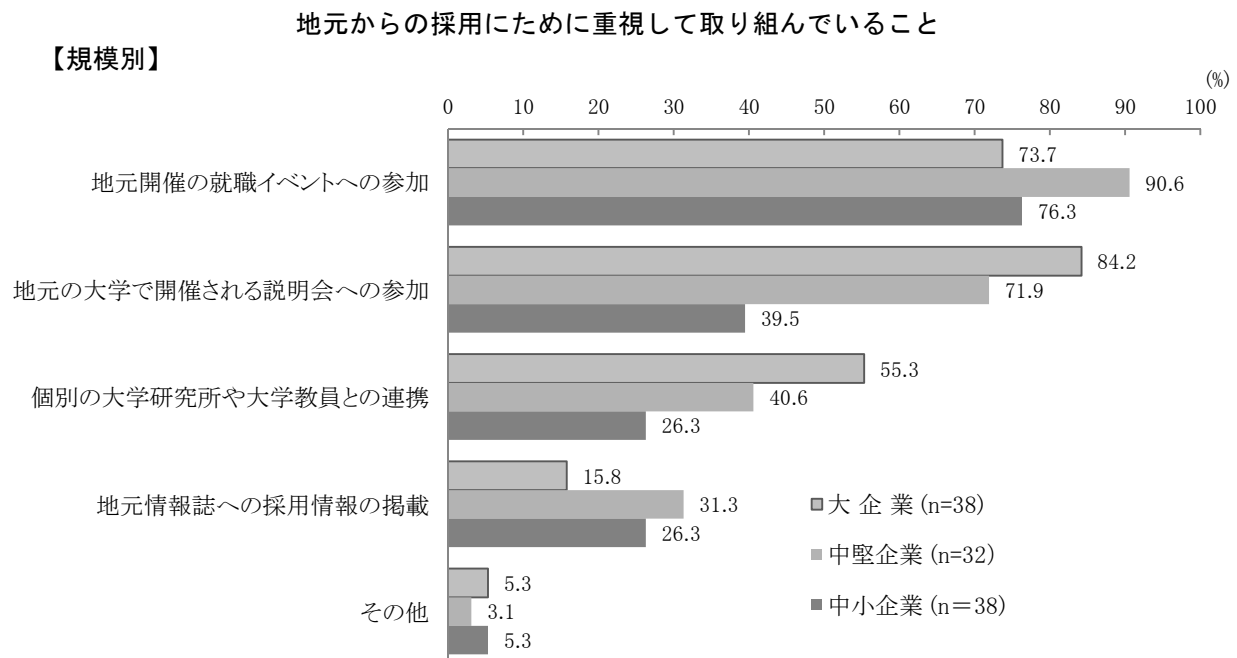
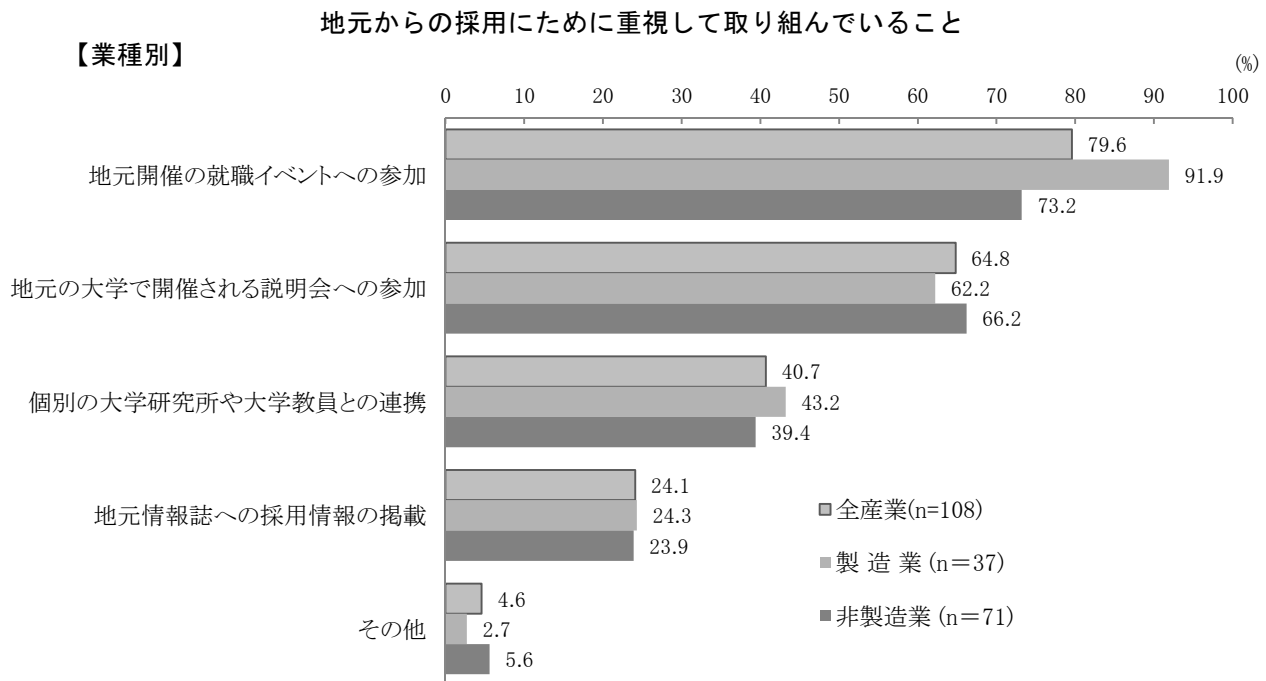


IV その他

1. 貴社の採用活動に関してお聞きます。

Q.7

Q6 ①、②とお答えになった方へ
 地元からの採用のために、どのようなことを重視して取り組んでいますか。（複数回答可）



◎その他の具体的な回答

- ・選考過程で県内出身者を重視
- ・ホームページをリクルート重点に改善
- ・インターンシップの受入れ
- ・不定期採用のため、特に継続的な取り組みはできていない

IV その他

1. 貴社の採用活動に関してお聞きます。

Q.8

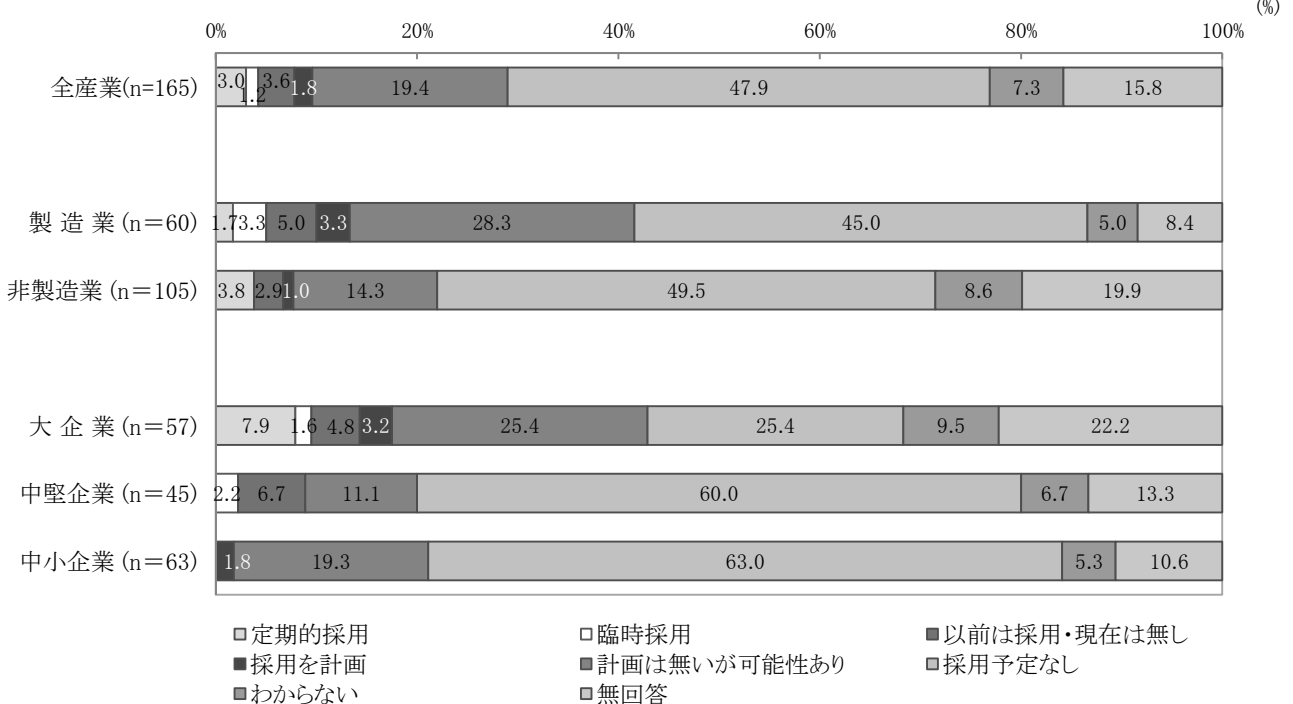
Q6④、⑤とお答えになった方へ
地元からの採用に積極的でない理由を教えてください。

- ・売手市場の為、希望する人材を採用できる見込みがない為
- ・採用できない
- ・本社(東京)で計画し、一括して採用している為
- ・転勤は不可避の為、全国的に求人している
- ・出身を問わず採用している為
- ・営業職の場合、地元出身者は全国転勤に意欲的でない人が多い為

Q.9

留学生の採用についてお聞きます。

留学生の採用状況

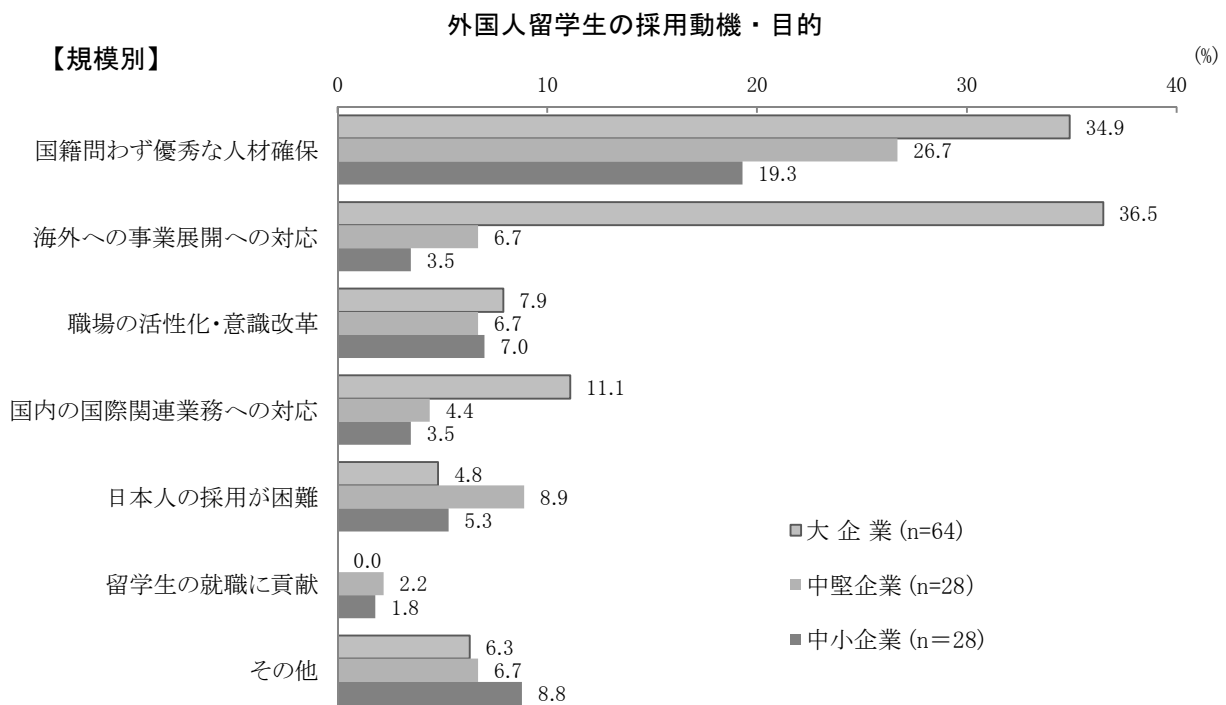
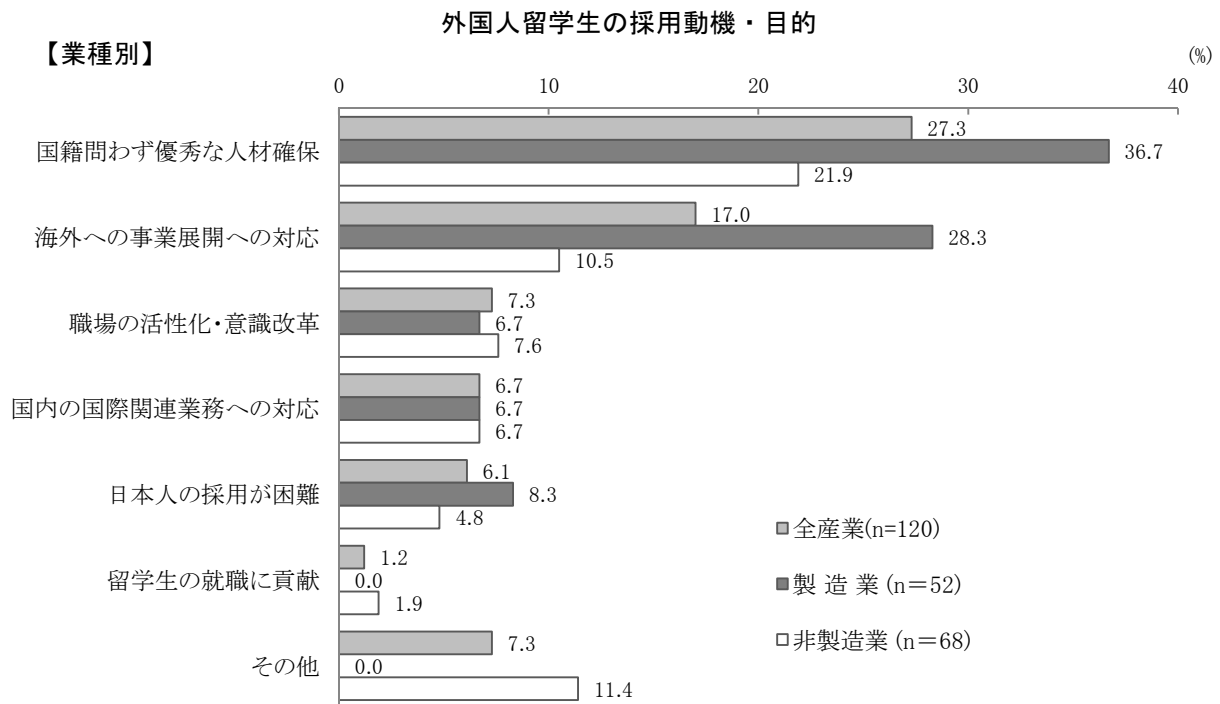


IV その他

1. 貴社の採用活動に関してお聞きます。

Q. 10

外国人留学生の採用動機・目的についてお聞きます。（複数回答可）

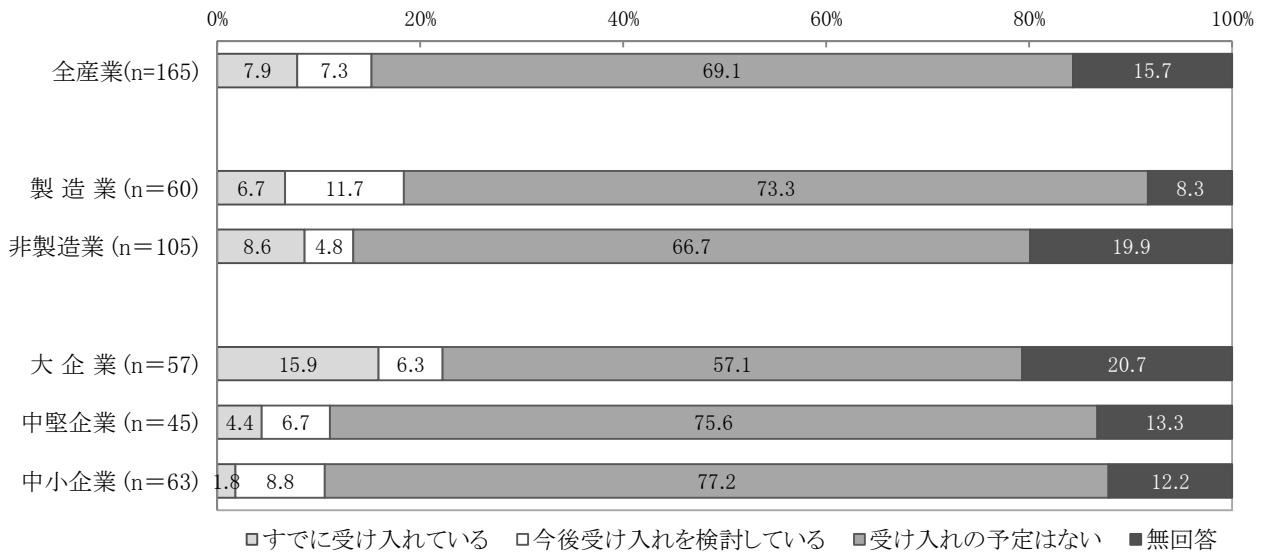


IV その他

1. 貴社の採用活動についてお聞きします。

Q. 11

外国人留学生のインターンシップ受入状況について教えてください。





ACCESS!
SUCCESS!
HOKURIKU

はじめよう、北陸サクセス。

平成29年4月28日発行

北陸経済連合会

HOKURIKU ECONOMIC FEDERATION

〒920-0981 金沢市片町2-2-15 北国ビルディング4階

TEL : 076-232-0472 FAX : 076-262-8127

e-mail info@hokkeiren.gr.jp

URL <http://www.hokkeiren.gr.jp>

北陸物語 **facebook**

<https://www.facebook.com/hokuriku.monogatari>